



2024 年度

商学部シラバス 1 (履修の手引)

School of Commerce Syllabus I

3・4年生抜粋用

明 治 大 学

Meiji University

2024年度

商学部シラバス 1 (履修の手引)

明 治 大 学

目 次

商学部ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー	4
商学部生の皆さんへ 一人権意識を高めるために	5
2024年度 学年暦	6
2024年度 時間割	7
I 履修方法	
1. 1年生用	9
2. 2年生用	28
3. 3・4年生用	43
4. Web履修登録要領	48
5. 学部共通科目紹介	62
6. 「Oh-o! Meiji システム」の活用について	63
II 授業科目及び担当者	
1. 授業科目及び担当者一覧表	65
2. 科目名対照表（2022年度以前入学者用）	80
3. 必修科目担当予定者一覧表	81
4. 語学について（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、CLASP）	90
III 特色のある授業・学部間協定留学	
1. 特別テーマ実践科目	101
2. 特別テーマ研究科目	103
3. 特別テーマ海外研修科目	105
4. 英語で行う科目	106
5. 商学部協定校への留学	107
IV 商学部カリキュラムマップ（2023年度以降入学者向け）	109

商学部 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

＜目指すべき人材像＞

商学部は、「権利自由」・「独立自治」の明治大学建学の精神及び「学理実際兼ね通ずる人材の養成」という学部創設以来の基本的教育理念を継承しています。この教育理念のもとで、商学の専門と教養の「知の融合」を通じて、学生の内面に新たな価値観、人間観及び世界観を「創生」することにより、現代社会を理解する知識、課題解決のための思考力を身につけ、他者と積極的に関わり、正義を実現する社会において活躍できる有為な人材、具体的には、新たな時代を担って世界で広く活躍できる人間の育成を目指しています。

＜そのための具体的到達目標＞

商学部の具体的到達目標として、以下の目標を掲げています。そして、本学学則に定める期間に在学し、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などからなる所定の単位（126単位）^{*}を修得することにより、教育目標に到達したと認定し、学士（商学）を授与します。

- （1）商学の専門知識と深い教養の知識を兼ね備えて、理論的思考で事象を考えることができる
- （2）外国語運用能力を備えた総合的な国際性、現代社会を理解する知識を身につける
- （3）商学の最先端分野に関する理論的・実証的研究の成果を習得する
- （4）「総合的市場科学」の視点より市場現象に関わる多様な課題を的確に分析し、それらを解決できる能力を有する
- （5）自ら主体的に学び、行動する積極性、様々な人々と協働できるチーム力及びコミュニケーション力で課題解決に取り組むことができる

※126単位は2023年度入学者から適用。

商学部 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

＜教育課程の理念＞

商学部は、商学の専門知識と深い教養とを兼ね備え、商学の最先端分野の理論的・実証的研究の成果を習得できるように、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などによって、体系的段階的な教育課程を編成しています。

＜教育課程の構成＞

セメスター制度のもと、1・2年次は、必修科目である基礎教育科目と外国語科目、保健体育科目を中心に構成されていますが、そのほかにも「商業総論」などの基本科目や「社会学」などの総合教育科目を学ぶことができます。

基礎教育科目は、商学部での学びをより充実させるために必要な技能や知識の習得のために設置され、「基礎演習」「文章表現」「経済学」から成り、これは初年次導入教育の役割を担っています。

3・4年次は、7つの専門コースが設定している基幹科目を中心に構成されます。また、2年次から4年次まで、商学の専門知識と深い教養を修得できるように、「総合学際演習」と「商学専門演習」を同時に履修できます。

＜教育課程の特長＞

- （1）少人数教育、体系的段階的履修、初年次導入教育などの原則のもと、「アプライド・エコノミクス」「マーケティング」「ファイナンス&インシュアランス」「グローバル・ビジネス」「マネジメント」「アカウンティング」「クリエイティブ・ビジネス」からなる7コース制を採用しています。
- （2）各コースは、それぞれの教育目標に応じて専門分野を学ぶため、基幹科目を設定しています。
- （3）応用展開科目を含め、自由に履修できる選択科目も開設し、その中には「特別テーマ実践科目」「特別テーマ研究科目」「特別テーマ海外研修科目」があります。「特別テーマ実践科目」は、社会連携活動を通して、社会から見え、社会が見える学生の育成を目指しています。「特別テーマ研究科目」は、商学に関する最先端の研究を学生に紹介し、「特別テーマ海外研修科目」では、海外協定校などで専門分野に関わる事柄を学ぶことができます。
- （4）世界で広く活躍できる人材に必要な外国語の修得にも力を入れ、多言語4年間一貫教育を実施し、一部の科目において英語による授業も行っています。
- （5）アクティブラーニング科目として、ビジネスの現場で企業が直面する課題に向き合い、少人数のチームで問題解決策を立案する「ビジネス・インサイト」を開講するとともに、演習科目等を配置しています。

商学部生の皆さんへ

一人権意識を高めるために

商学部長

中林 真理子

現代社会は日々変化し、複雑化しています。AIが急速に進化し、経済や社会のあり方を大きく変化させている中で、各個人には、さまざまな職業能力および生活能力の培養と発揮が求められていますが、これらは、すぐれた人格や人としての高潔さ（integrity）に基礎を置くものでなければなりません。

また、社会生活においては、社会的・経済的弱者への配慮は不可欠であり、公正性が前提となります。女性の社会進出や日本社会の多様化に伴って、職場環境や生活環境が変化していることを深く認識する必要があり、同時に、大学も例外ではないことをしっかりと確認しておかねばなりません。本学においても、すでに2016年12月に明治大学男女共同参画推進基本計画が策定され、2018年11月に明治大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言を公表しています。また、2016年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されたことに伴い、「明治大学障がい学生支援基本方針」を定め、2018年11月から施行されています。2024年4月からは同法の改正により、合理的配慮の提供が義務化されました。さらに、2020年2月には明治大学レインボーサポートセンターが設立されています。性、ジェンダー（性的社会分業）、国籍などによる「見えない差別」に対する現状の認識とその問題解消に向けた具体的な取り組みのあり方について、正確な知識と理解を持つことが必要です。

商学部生の皆さんは、自らの将来の職業能力を高める上で必要となる教育を受ける学生であると同時に、社会を構成する一人の自立した人間として社会のルール・道徳を守ることが求められます。自分にとって都合の良いことを考えるのみならず、自分が関わる他者の気持ちを思いやれるようになってほしいと思います。皆さんが、快適な学生生活を送る上で、以下の事項についてとくに慎重な注意を払ってください。

1. 明治大学は、すでにキャンパス・ハラスメントの防止等に関するガイドラインを制定しています。このガイドラインを新入生ガイダンス等で配布していますが、ぜひガイドラインを読み返し、ハラスメントについて鋭敏な感覚と理解を自ら高めるよう、お願いします。
なお、ガイドラインの詳細は、以下の明治大学ホームページにも掲載されています。
(参考 <https://www.meiji.ac.jp/koho/academeprofile/activity/harassment/guidelines/about.html>)
2. 最近、大麻等の薬物の所持・乱用が社会問題になっておりますが、これは犯罪行為であり、大学当局並びに学部教授会は、こうした行為に厳格な対応をとります。こうした行為に走らないように、自らを厳しく律してください。
3. Instagram、X、LINE、YouTube等、SNSを利用する際には、それが知り合いばかりでなく社会に公開される可能性もあることを強く意識し、自分自身の違法行為を自慢するようなことのないようにするとともに、著作権、肖像権など、他の人の権利を侵害することのないようにしてください。メディア授業においては、特に注意してください。
4. 上記のような大学のグローバル化の中で、多様な民族・文化・宗教を背景とする多くの学生が明治大学で学んでいます。学生生活において、キャンパスを共有するものが互いに異なる民族・文化・宗教に対する理解を深めることは、極めて重要な事柄になっています。こうした多様性への理解と他者への共感が異なる背景を有する人々との共生の第一歩となります。そうした理解と共感を深めるためにも、さらに、勉学に取り組んでください。

最後に、コロナ禍を経た新しい生活様式において、少なからず生きづらさを感じている皆さんもいるはずです。何かあれば一人で抱え込まずに、学生相談室などを活用してください。他者はもちろん、自分自身の命を守ることは何より大切です。

以上

明治大学2024年度学年暦

春 学 期		4 月 1 日 (月) ~ 9 月 1 9 日 (木)
入 学 式		4 月 7 日 (日)
学 習 指 導		4 月 1 日 (月) ~ 4 月 9 日 (火)
授 業 期 間		4 月 1 0 日 (水) ~ 7 月 2 2 日 (月)
	前半集中開講科目 (S 1) ※	4 月 1 0 日 (水) ~ 6 月 3 日 (月)
	後半集中開講科目 (S 2) ※	6 月 4 日 (火) ~ 7 月 2 2 日 (月)
臨時休業(休講)日		5 月 1 日 (水) ・ 5 月 2 日 (木)
休日授業実施日①		4 月 2 9 日 (月) [昭 和 の 日]
休日授業実施日②		7 月 1 5 日 (月) [海 の 日]
補 講 日 ①	※土曜日の通常時限を利用	5 月 2 5 日 (土) ・ 6 月 1 日 (土)
補 講 日 ②	※土曜日の通常時限を利用	7 月 1 3 日 (土) ・ 7 月 2 0 日 (土)
定 期 試 験	※予備日を含む	7 月 2 3 日 (火) ~ 7 月 3 1 日 (水)
夏 季 休 業		8 月 1 日 (木) ~ 9 月 1 9 日 (木)
秋 季 卒 業 式		9 月 1 9 日 (木)
秋 学 期		9 月 2 0 日 (金) ~ 3 月 3 1 日 (月)
秋 季 入 学 式		9 月 1 9 日 (木)
学 習 指 導		9 月 1 8 日 (水)
授 業 期 間		9 月 2 0 日 (金) ~ 1 月 2 3 日 (木)
	前半集中開講科目 (F 1) ※	9 月 2 0 日 (金) ~ 1 1 月 1 4 日 (木)
	後半集中開講科目 (F 2) ※	1 1 月 1 5 日 (金) ~ 1 月 2 3 日 (木)
休日授業実施日①		9 月 2 3 日 (月) [振 替 休 日]
休日授業実施日②		1 0 月 1 4 日 (月) [ス ポ ー ツ の 日]
休日授業実施日③		1 1 月 2 3 日 (土) [勤 労 感 謝 の 日]
補 講 日 ①	※土曜日の通常時限を利用	1 0 月 1 9 日 (土) ・ 1 0 月 2 6 日 (土)
補 講 日 ②	※全日補講のみ実施	1 月 2 2 日 (水)
補 講 日 ③	※全日補講のみ実施	1 月 2 3 日 (木)
大 学 祭 週 間	※当該期間中は全日休講	1 0 月 3 1 日 (木) ~ 1 1 月 6 日 (水)
明 大 祭		1 1 月 2 日 (土) ~ 1 1 月 4 日 (月)
生 明 祭		1 1 月 2 日 (土) ~ 1 1 月 4 日 (月)
創 立 記 念 祝 日		1 1 月 1 日 (金)
臨時休業(休講)日		1 2 月 2 4 日 (火) ・ 1 月 1 8 日 (土)
冬 季 休 業		1 2 月 2 5 日 (水) ~ 1 月 7 日 (火)
創 立 記 念 日		1 月 1 7 日 (金)
定 期 試 験	※予備日を含む	1 月 2 4 日 (金) ~ 2 月 3 日 (月)
春 季 休 業		2 月 4 日 (火) ~ 3 月 3 1 日 (月)
卒 業 式		3 月 2 6 日 (水)

※各学期の前半集中・後半集中開講科目の利用は、一部の授業で7週完結授業を導入する学部に限る。
 ※大学祭週間中の授業休講措置は全キャンパスに適用する。ただし、大学院、専門職大学院において大学祭週間に授業を実施する場合がある。

2024年度 時間割

1. 授業時間割（全キャンパス共通）

時限	時間帯	モジュール	時間帯	備考
Mm（モーニングモジュール）			8：00～ 8：50	原則として、学期を通しての授業は実施しない
1 時限	9：00～10：40	a	9：00～ 9：50	
		b	9：50～10：40	
2 時限	10：50～12：30	a	10：50～11：40	
		b	11：40～12：30	
Lm（ランチモジュール）			12：35～13：25	原則として、前後各5分と合わせて1時間の昼休みとする
3 時限	13：30～15：10	a	13：30～14：20	
		b	14：20～15：10	
4 時限	15：20～17：00	a	15：20～16：10	
		b	16：10～17：00	
5 時限	17：10～18：50	a	17：10～18：00	
		b	18：00～18：50	
6 時限	19：00～20：40	a	19：00～19：50	
		b	19：50～20：40	
Nm（ナイトモジュール）			20：50～21：40	原則として、学部では、学期を通しての授業は実施しない

2. 定期試験時間割（全キャンパス共通）

時限	時間帯	備考
1 時限	9：30～10：30	
2 時限	11：00～12：00	
3 時限	13：30～14：30	
4 時限	15：00～16：00	
5 時限	16：30～17：30	
6 時限	18：00～19：00	
7 時限	19：30～20：30	一部の学部でのみ使用

— 3・4年生用 —

1. 授業について

- (1) 授業は、4月10日（水）から開始する。
- (2) 授業形態については、Oh-o!Meijiクラスウェブより確認すること。

2. 仮参加機能について

- ・履修登録期間前は、Oh-o!Meijiの仮参加機能を使うことで、授業に参加することができる。
- ・履修登録期間前の授業に関するお知らせ等を確認するには、仮参加の設定をする必要がある。
- ・仮参加は履修とは異なるので、履修しない科目も仮参加が可能である。
- ・仮参加機能は、履修登録期間後に自動で解除される。
- ・仮参加は、上限単位数を超えての登録が可能である。

3. 科目履修に関する注意点について

(1) 履修制限単位について

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">履修制限単位</div> (2021年度以降入学) 春学期22単位・秋学期22単位 に含まれる科目 (2020年度以前入学) 春学期24単位・秋学期24単位 に含まれる科目	新規履修科目 再履修科目	①商学部設置科目 ②情報関係科目 ③学部間共通総合講座 ④他学部履修科目（認められた科目のみ） ⑤資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。8単位まで。ただし、2017年度以降入学のみ）
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">履修制限単位以外</div> に履修できる科目	新規・再履修科目	①学部間共通外国語科目（卒業要件外として履修する場合） ②国際教育プログラム基幹科目（他学部開講科目の場合）等 ③資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合） ④大学院商学研究科博士前期課程設置科目（4年次に限り16単位まで履修可） ⑤専門職大学院会計専門職研究科設置科目（最終学年次に限り10単位まで履修可）

- (2) 外国専門書講読（各コース）は必修科目である。春・秋学期各々3分の2以上出席しない場合、評価の対象とならないので留意すること。
- (3) 初習外国語（1年次配当）の再履修科目は、和泉キャンパスで履修すること。既習外国語（1・2年次）及び初習外国語（2年次）の再履修は、駿河台キャンパスで履修すること。（ただし、ロシア語・日本語の選択者は、1年次・2年次配当のいずれも、再履修は和泉キャンパスで履修すること。）

- (4) 他学部の授業科目で商学部に設置されていない科目を履修することができる。他学部設置科目の履修は3年次4単位、4年次8単位まで。他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数に含まれる。
- (5) 大学院商学研究科博士前期課程設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目を履修する際は、所定の手続きを行うこと。なお、これらは商学部の卒業要件には含まれない（ただし、修得した単位はそれぞれに入学後、修了に必要な単位数に算入することができる）。

4. 履修について

(1) 駿河台抽選科目申込期間 **4月4日（木）午後1時～4月5日（金）午前9時半**

「マーケティング企画A・B」、「経済予測入門A・B（2020年度以前入学者は、「経済予測入門」）」「計量経済学A・B」「メディアとリテラシー」は抽選により履修者を決定する。履修登録期間（4/16～18）での申込は受け付けない。別途WEBでの抽選登録が必要なため、Oh-o! Meijiの「3年生向けガイダンス」「4年生向けガイダンス」グループで詳細を確認すること。

(2) 履修登録期間 **4月16日（火）午後1時～4月18日（木）午前9時半 時間厳守**

(3) 履修の方法

- ① 履修はWEB登録となる。WEB履修登録要領（48～61ページ）を参照の上、期日を守って登録すること。
- ② 外国専門書講読は商学部事務室が履修登録を行う。必ず指定された、曜日、時限の授業を受けること。変更は認めない。
- ③ 「国際マーケティング論A・B」はクラス指定科目である。クラス分けは以下の表を確認すること。

組	曜日時限・教員
3年（1組～17組） 4年（1組～15組）	木曜1限：鈴木 仁里 先生
3年（18組～34組） 4年（16組～30組）	木曜3限：深澤 琢也 先生

- ④ 「基礎演習」、「文章表現」、「1年次配当ドイツ語」、「1年次配当フランス語」、「1年次配当中国語」、「1年次配当韓国語」、「1年次配当スペイン語」は、(1)(2)の期間ではなく、別途WEBでの抽選登録が必要である。詳細は、Oh-o! Meijiの「3年生向けガイダンス」「4年生向けガイダンス」グループで確認すること。
- ⑤ 特別テーマ実践科目の履修を希望する場合は、春学期学習指導期間にOh-o!Meijiの「特別テーマ実践科目ガイダンス」グループを確認し、**初回授業へ必ず出席すること**。春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。一部の特別テーマ実践科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を選考、決定するためOh-o! Meijiの資料を確認すること。
- ⑥ 情報関係科目の履修登録期間の詳細は情報関係科目シラバスで確認すること。
- ⑦ 他学部設置科目の履修登録は窓口で受け付けない。他学部設置科目の履修登録も(2)の履修登録期間に各自でWEB履修登録すること。
- ⑧ 同じ日に他キャンパスで開講している科目を連続して履修する場合は、2限と3限の連続に限る。それ以外の場合は、キャンパス間の移動時間を考慮し、1コマ以上空けること。

5. 個人別時間割表について

個人別時間割表公開 4月22日（月）午前10時～ Oh-o! Meijiにて公開

WEB履修登録期間の終了後、Oh-o! Meijiポータルページにて「個人別時間割表」を公開する。

本年度履修する科目は、この「個人別時間割表」に記載されている科目となるので、必ず確認をすること。履修登録にエラーが生じている場合のみ履修修正期間において修正を認める。自己都合での修正は認めないので、WEB登録では間違いのないように注意して履修登録をすること。

6. 定期試験について

定期試験の時間割は必ず商学部ホームページにて確認すること。

定期試験期間中に行われる試験は、通常授業の時間帯と異なることがあるので注意すること。

7. 卒業見込みについて

最終年次の前年度末までに、所定の在籍年数を満たし卒業要件科目から92単位以上を修得した者には、最終年次の4月上旬に卒業見込証明書の発行が可能となる（就職活動の際、必要となる場合がある）。

3年次では、商学部で何を深く学びたいかを考えながら、時間割を作成しましょう。

- ・指定された外国専門書講読の曜日、時限を確認しましょう。必修科目を再履修しなければならない場合、再履修クラスの曜日、時限を確認してください。
- ・入室試験で合格した演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ・自分の選択したコースの基幹科目から履修したい科目を選びましょう。総合教育科目などで、卒業要件を満たしていない場合には、こちらも履修しましょう。
- ・大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成しましょう。
- ・本登録期間前に、事前に抽選等で履修者を決める科目もあるので、注意してください。

○授業中の写真等の撮影について

授業中の写真等の撮影は、原則認められません。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもあります。

4年次では、商学部の卒業要件を満たせるかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ・自分の選択したコースの基幹科目、他コースの基幹科目、総合教育科目などで、卒業要件を満たしていない場合には、必ず余裕をもって履修しましょう。
- ・4年次には、卒業要件科目のうちから、最低12単位を修得しなければいけません。
- ・入室試験で合格した演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ・大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成しましょう。
- ・本登録期間前に、事前に抽選等で履修者を決める科目もあるので、注意してください。

○授業中の写真等の撮影について

授業中の写真等の撮影は、原則認められません。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもあります。

【卒業単位数及び卒業要件】

科目群		単位数	備考		
基礎教育科目	基礎演習	2	必修		
	文章表現	2			
	経済学A	2			
	経済学B	2			
外国語科目	既習外国語	必修	8	英語	必修
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）		
	初習外国語	必修	8	1カ国語を選択	必修
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）		
総合教育科目	文化と芸術	4	24	総合教育科目の3分野から4単位以上を含め、総合教育科目と総合学際演習から合計24単位以上。留学生は「日本事情A～F」のうち8単位を含めることができる	
	地域と社会	4			
	人間と自然	4			
総合学際演習	総合学際演習				
保健体育科目		2		※「体育・スポーツ実習A・B」は必修科目	
基本科目		16			
基幹科目	自コース科目	28	48	自コースの「外国専門書講読(半期2単位)」4単位を含め28単位以上かつ、自コース科目・他コース科目・商学専門演習を合わせて48単位以上	
	他コース科目				
商学専門演習	商学専門演習				
応用展開科目					
その他					
資格課程関係科目 (8単位まで※2017年度以降入学者のみ)					
他学部履修科目					
学部間共通外国語 国際協力人材育成プログラム 日本ASEAN相互理解プログラム グローバル人材育成プログラム (4単位まで※2018年度以降入学者のみ)					
合 計				134	

注意事項

- 卒業に必要な単位数は、134単位以上とする。
- 総合教育科目については、次のとおりとする。
 - 「文化と芸術」、「地域と社会」及び「人間と自然」の3分野からそれぞれ最低4単位ずつ、合計24単位以上を修得しなければならない。
 - 外国人留学生のための科目「日本事情A～F」の履修は、外国人留学生に限るものとし、修得単位は、総合教育科目の単位数に含めることができる。
 - 総合学際演習の修得単位は、総合教育科目の単位数に含めることができる。

3. 基礎教育科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した科目をフリーゾーン(任意選択科目)とし、20単位を卒業要件とする。

例) 卒業までに、基本科目を20単位修得した場合、20から「基本科目の卒業までに必要な単位である16」を差し引いた4単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される
4. 基幹科目は、選択したコース科目のうちから、各コースの外国専門書講読(必修、春学期・秋学期各2単位の計4単位)を含め28単位以上と、自コース科目・他コース科目・商学専門演習の単位を合わせて、48単位以上を修得しなければならない。なお、入学年度によって自コース科目が一部異なるので、注意すること。自コースの基幹科目は、71ページ以降の授業科目を参照すること。
5. 4年次においては、最低12単位以上を修得しなければならない。この単位は新規履修・再履修の区別なく卒業要件科目のうちから修得すること。この条件が満たされない場合、たとえ他の卒業要件が全て満たされても卒業することができない。また、この条件で原級した者は、残りの単位を修得しなければならない。
6. 外国語の選択科目(3・4年次配当)について
 - (1) 既習外国語は「発展英語」(半期科目)を、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同時に複数の「発展英語」を履修することができる。
 - (2) 初習外国語は「上級ドイツ語」、「上級フランス語」、「上級中国語」、「上級韓国語」、「上級スペイン語」(それぞれ半期科目)を、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同じ科目が複数開講されている場合、同時に複数の「上級ドイツ語」、「上級フランス語」、「上級中国語」、「上級韓国語」、「上級スペイン語」を履修することができる。
 - (3) 初習外国語について、さらに深く学ぼうとする学生のために、発展クラスを設置している。シラバスの「発展ドイツ語」、「発展フランス語」、「発展中国語」、「発展韓国語」、「発展スペイン語」をそれぞれ参照し、受講を希望するものは、**初回の授業に必ず出席すること**。発展クラスは、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同じ科目が複数開講されている場合、同時に複数の「発展ドイツ語」、「発展フランス語」、「発展中国語」、「発展韓国語」、「発展スペイン語」を履修することができる。
 - (4) 既習外国語と初習外国語を同時に履修することができる。
7. 学部間共通外国語科目・グローバル人材育成プログラム科目について
 - (1) 1年生から3年生の間に「卒業要件外」として履修・修得した科目を、4年次の春学期に商学部事務室(駿河台)に申請した場合、フリーゾーンの単位として4単位までを上限に卒業要件に参入する。対象者には申請方法等の詳細を、4月末頃にOh-o! Meijiから配信する。
 - (2) 4年次の申請により卒業要件への参入を認められた該当科目は、4年次に修得しなければならない最低12単位分の科目には含まれない。
 - (3) 4年次の申請により卒業要件への参入を認められた該当科目は、4年次春学期の履修制限単位数に含まれる。
 - (4) 該当科目の修得年度は、実際に履修した学年のままで変更はされない。
 - (5) 学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目以外を履修し、単位を修得した場合が対象となる。
 - (6) 学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム科目の詳細については、明治大学HPを確認すること。

— WEB履修登録要領 —

1. 履修登録について

履修登録に関する日程は以下のとおりです。

履修登録に関する日程 は以下のとおりです。	期 間	注意事項
注 意 抽選科目申込	学年、科目により 受付期間が異なります。	本冊子（シラバス1）、大学ホームページ、Oh-o!Meijiの学年別ガイダンスグループ等で各自確認してください。
重 要 WEB履修登録	4月16日（火）午後1時 ～ 4月18日（木）午前9時半 【登録期間厳守】	学外からも利用可能 ※WEB履修登録期間後、自己都合での履修修正は認めないので、登録の際は、十分注意すること。
個人別時間割公開	4月22日（月）午前10時～	Oh-o! Meijiにて公開

※公開された個人別時間割表に登録エラーが表示されている学生は指定の期間内で修正が必要になります。詳細は対象者だけに別途Oh-o!Meijiでお知らせします。また、大学の事務室（和泉キャンパス 03-5300-1142・駿河台キャンパス 03-3296-4160）から着信があった際は必ず折り返しご連絡ください。

【注意事項】

（1）抽選科目申込について

- ・ **一部科目は履修登録期間（4月16日（火）～4月18日（木））の前に、抽選によって履修者を決定します。**
- ・ 対象科目は学年により異なります。11ページ、28ページ、44ページを確認してください。
- ・ 語学の必修科目・基礎演習・文章表現等の再履修科目も抽選によって履修者を決定します。詳細はOh-o!Meijiの学年別ガイダンスグループを確認してください。
- ・ 全学共通総合講座、学部間共通外国語、情報関係科目、資格課程関係科目等の一部科目も抽選によって履修者を決定します。62ページ、大学ホームページ等を参考に各科目の詳細を確認してください。
- ・ 抽選の応募には指定の期間内にWEB履修システム等での申し込みが必要です。申込開始日や受付期間、登録方法が科目により異なるため、本冊子、大学ホームページ、Oh-o!Meijiの学年別ガイダンスグループ等で確認してください。

（2）履修登録について

- ・ 一部科目は初回授業に出席しなければ、履修登録が認められません。対象科目は本冊子（シラバス1）、大学ホームページ、Oh-o!Meiji等で各自確認してください。
- ・ 履修登録は原則として4月の年1回のみです。**秋学期科目も忘れずに登録してください。**また、**休学や留学等を理由に春学期通常在籍していない場合も、秋学期履修予定の場合は必ず登録をしてください。**（一部科目が秋学期修正期間の登録を認められない場合があります）
- ・ **履修登録していない科目は、たとえ試験を受けたとしても単位は与えられません。**また、科目名・担当者が同じでも、曜日・時限が履修登録と異なる場合は無効になります。

- ・他学部設置科目の履修を希望する場合も、4月16日（火）午後1時～4月18日（木）午前9時半までに登録を行ってください。
- ・1、2年生の一部科目、外国専門書講読（3年生のみ）は事前に登録されています。登録状況は本冊子（シラバス1）の58～59ページに記載している「履修登録確認画面」にて確認してください。

（3）登録環境の注意

- ・大学のパソコン設置施設は大変混み合うことが予想されます。開室時間・台数は限られていますので、自宅等のパソコンを利用し、期限に間に合うようにしましょう。また、不測の事態（急にインターネットに接続できなくなった、パスワードを忘れてしまった等）に備える意味でも、登録は余裕を持って早めに行うようにしてください。なお、**必ずパソコンで登録してください。スマートフォンでは不具合が生じる恐れがあります。**
- ・**電話及びメールでは、操作方法に関する問合せには一切応じられません。**この要領を熟読のうえ、登録を行ってください。
- ・学外の施設を利用する場合は、パスワードをブラウザに残さないように注意してください。

2. 秋学期履修制度について

春学期の成績評価開示後、秋学期科目の学習計画を変更したい者に限り、所定の手続期間内において、秋学期の履修登録科目を変更（履修制限単位数の中での新規追加を含む）することができます。

（1）秋学期に新規追加する仮参加登録について

- ・履修登録が完了していない科目のクラスウェブを閲覧するには、仮参加登録が必要です。秋学期の仮参加期間については、7月下旬にOh-o!Meijiよりお知らせします。

（2）履修修正期間

2024年9月下旬

※詳細は、7月下旬にOh-o!Meijiより通知いたします。

「入力を間違えた」「期間を間違えた」「PCが壊れた」など如何なる理由があっても、システムの都合上、修正ができませんので注意して下さい。

（3）履修修正方法

- ・履修修正は、WEB履修システムを利用して行います。

（4）履修科目の削除及び追加について

①商学部開講科目

ア) 以下の科目の履修削除・追加はできません。

- ・必修科目、クラス指定科目（但し、簿記学A・Bを除く）
- ・商学専門演習、総合学際演習
- ・抽選等により履修が認められた科目・事前登録科目

イ) 以下の科目は履修削除のみ可能です。（履修追加は不可）

※WEB履修登録システム上で一度履修削除した場合、履修修正期間であっても追加登録を行うことはできません。

- ・駿河台開講科目において、春学期の履修状況により、履修追加不可科目に該当された科目
- ・他学部開講科目（資格課程関係科目は、資格課程事務室の指示に従うこと）

ウ) 履修追加科目について

[和泉開講科目]

- ・7月下旬に、Oh-o! Meiji及び大学HPにて、「2024年度商学部履修追加可能科目一覧」を公開しますので、履修追加可能科目を確認してください。
- ・「2024年度商学部履修追加可能科目一覧」に掲載されていない科目は、履修の追加ができません。
- ・春学期に単位未修得だった科目を秋学期に履修追加することはできません。
例：春学期に理論経済学Aを落としたので、秋学期に理論経済学Aを再履修することはできません。
- ・特別テーマ実践科目については、エ)をご確認ください。

[駿河台開講科目]

- ・上記のア)・イ)に該当しないもので、商学部・駿河台キャンパス授業時間割に掲載されている科目は、履修の追加及び削除が可能です。
- ・春学期に単位未修得だった科目を秋学期に履修追加することはできません。
例：春学期に理論経済学Aを落としたので、秋学期に理論経済学Aを再履修することはできません。
- ・特別テーマ実践科目については、エ)をご確認ください。

エ) 特別テーマ実践科目について

履修を希望する場合は、Oh-o!Meijiの「特別テーマ実践科目ガイダンス」グループを確認し、**初回授業へ必ず出席してください**。初回授業で履修者を選考、決定し商学部事務室で履修登録を行います。履修決定後のキャンセル・履修削除は認められません。なお、一部の特別テーマ実践科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を決定しているため、追加は認められません。

②その他開講科目

- ・以下の科目は担当の各事務室よりお知らせ予定です。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・全学共通総合講座・学部間共通外国語科目（振替を除く）→ 教務事務室 ・情報関係科目 → 和泉メディア支援事務室 ・資格課程関係科目 → 資格課程事務室 |
|--|

(5) 履修登録確認について

- ・修正完了後、WEB履修システム内「履修登録確認」で修正した科目に間違いがないか、必ず確認してください。

【重要】 誤って削除した場合に復旧できない科目がありますので、**細心の注意**を

払って 操作してください。

3. WEB履修登録方法

1. WEB履修登録の流れ

ガイダンスへ参加（Oh-o! Meiji グループ内から閲覧）

- 共通認証パスワードを確認し、Oh-o! Meiji へログイン
- 2024 年度授業時間割表、シラバスを Oh-o! Meiji グループまたは商学部ホームページから確認
- 履修計画を立てる。適宜 Oh-o! Meiji で仮参加登録を行う
- 希望の抽選科目・申込期間・登録方法を確認



抽選科目申込（希望者のみ・学年、科目により受付期間が異なるため要注意）

- 履修を希望する抽選科目がある場合は指定の方法・期間内に申込



授業開始（4月10日（水）～）

- 授業に出席する。一部科目は初回授業に出席しなければ、履修登録できないため注意



WEB履修システムから履修登録（4月16日（火）午後1時～4月18日（木）午前9時半）

（※時間帯に注意）

インターネットを使える環境からWEB履修ページにアクセス（自宅、学内施設等）



個人別時間割表の確認（4月22日（月）午前10時～） ***必ずOh-o! Meijiで確認すること**

- 個人別時間割表に登録エラーが表示されていないかを確認する。



登録エラー表示無し

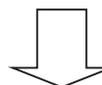
登録完了

※自己都合による履修修正は一切認められません。



登録表示エラー有り

対象者だけに商学部事務室からOh-o! Meijiで修正方法をお知らせします。4月22日（月）～4月25日（木）の期間内で手続きを行ってください。なお、大学の事務室（和泉キャンパス 03-5300-1142・駿河台キャンパス 03-3296-4160）から着信があった際は必ず折り返しご連絡ください。



個人別時間割表のエラー表示を解消

登録完了

2. WEB履修登録受付開始までに必要事項を確認すること

WEB履修登録前に、以下のことを確認してください。

① 学生番号と共通認証パスワードを確認する

WEB履修登録システムを利用するには、学生番号と共通認証パスワードが必要です。WEB履修登録受付開始までに、Oh-o! Meijiシステムにログインする等して、自分の共通認証パスワードが正しいか各自で事前に確認してください。

重要 共通認証パスワードについて

共通認証パスワードとは、**証明書自動発行機やOh-o! Meijiシステムで利用している入学手続き時に設定したパスワード**です。パスワードを忘れた、あるいは何度試してもうまくログインできない場合は、速やかに商学部事務室の窓口で再発行の手続きを取ってください。

② 履修計画を立てる

WEB履修登録システムは、20分間操作しないしていると自動的に切断されてしまいます。あらかじめ、履修する科目を決めた上で登録しましょう。

③ インターネットが利用可能なパソコンを確認する

インターネットが利用できるパソコンであれば、どこからでもWEB上で履修登録をすることができます。周りに利用可能なパソコンがない場合は、大学で利用できるパソコンから履修登録を行ってください。

また、WEB履修登録システムの動作環境は以下のとおりです。利用するパソコンの動作環境が不明な場合は、大学設置のパソコンを利用してください。ただし、パソコンが設置されている場所は大変混み合うことが予想されます。**期限に間に合うよう余裕をもって早めに登録してください。**

【動作環境】

・OS

Windows 8/8.1/10

・ブラウザ

Microsoft Edge、Internet Explorer 10.0以上

※Macintosh・スマートフォンは、動作保証対象外となります。上記環境のパソコンを使用してください。

3. WEB履修システムから履修申請

重要（登録前に必ず読んでください。）

2024年度時点で、商学部については、50分ごとのa、b各モジュール単位での講義は原則実施せず、従来通り、1時限ごと（100分）で実施することになっています。以下の手順に従い、**登録時間に余裕を持って履修登録**するようにしてください。

登録方法は以下のとおりです。

- (1) 明治大学ホームページ (<http://www.meiji.ac.jp/>) で、メニュー項目の「教育／学部・大学院」→「商学部」を選択します。または、直接「<http://www.meiji.ac.jp/shogaku/>」とURLを入力してください。



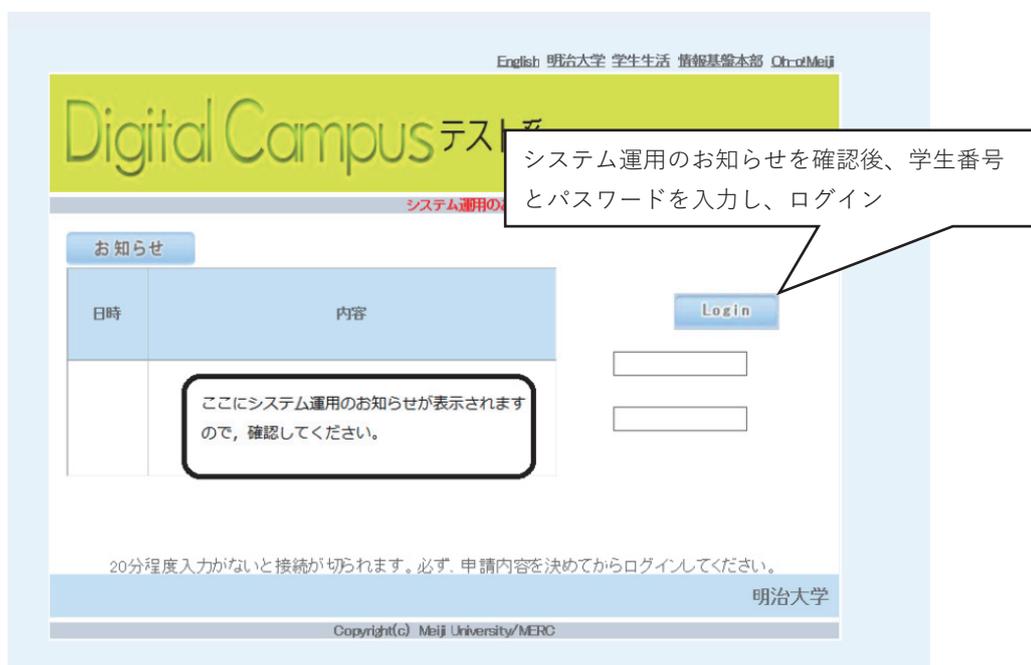
- (2) 商学部ページが表示されます。左側のメニューバーより「事務室からのお知らせ」をクリックします。



- (3) 「2024年度WEB履修申請」をクリックします。
- (4) WEB履修登録システムのガイドページが表示されますので、よく読んで、「→WEB履修登録システムへログインする」をクリックしてください。
- (5) 学生番号と共通認証パスワードを入力後、「sign in」をクリックしてください。
- ・入力はすべて半角で入力してください。
 - ・パスワードは入力すると「●」で表示されます。



- (6) WEB履修登録システムのページが表示されます。「お知らせ」を確認後、学生番号とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



- ※パスワードはOh-o! Meijiシステムにログインする際に使用しているものと同じです。
- パスワードが不明な場合は、商学部事務室にお問合わせください。
- ※WEB履修システムを複数画面開いた場合、正常な動作が担保されません。

(7) 履修申請TOPページが表示され、これでログイン完了です。
画面左側のメニュー項目から「履修登録」を選択します。



(8) 画面上部より、登録したい科目の**開講期**及び**開講地区**を選択します。



■科目を削除・変更する場合

削除する場合は、画面左下より、①「登録を取り消したい科目のカテゴリ（例えば、「商」）」→②「曜日」→「時限」の順で選択してください。科目一覧から③「0000aモジュールのみ取り消し」または「0000bモジュールのみ取り消し」を選択し、**最後に必ず④「申込み」ボタンをクリックしてください。**

④ 重要 科目を選択し、必ず「申込み」をクリックすること。

① 取り消す科目のカテゴリを選択

② 曜日・時限を選択

③ 0000a モジュールのみ取り消しを選択

★登録・変更後は「申込み」ボタンを押してください！

0000aモジュールのみ取り消し
0000bモジュールのみ取り消し

変更する場合は、登録している科目を上記の手順で削除し、新たに登録したい科目を選択し、必ず「申込み」をクリックしてください。（申込みボタンを押さないと変更が登録されません）

(12) 登録した科目を確認する。

◆春学期、秋学期ともに履修を希望する科目の登録後、「戻る」ボタンをクリックしてください。

履修を希望する科目をすべて登録した後にクリック

★登録・変更後は「申込み」ボタンを押してください！

0000aモジュールのみ取り消し
0000bモジュールのみ取り消し

◆画面左のメニューバーから「履修登録確認」を選択します。



◆現在登録されている科目の一覧が表示されます。希望している科目がきちんと登録されているかを確認してください。登録したはずの科目が画面に表示されていない場合は、もう一度登録しなおし、再度確認してください。履修登録画面で登録していても「履修登録確認」画面に表示されていない場合、正常に登録できていない可能性がございますので必ず「履修登録確認」画面で確認してください。

◆プリンタが接続されている場合、「印刷」ボタンをクリックすると登録内容が印刷されます。なお、初期設定では右端が印刷されない場合もあります。印刷ボタンをクリックしたあと、[詳細設定]-[印刷方向]で「横」を選択してから印刷してください。

履修登録画面のスクリーンショットではなく「履修登録確認」画面を印刷し、個人別時間割公開時に確認できるように必ず保管するようにしてください。

すべての確認が終わったら、「ログアウト」ボタンをクリックして終了してください。



重要 WEB履修登録確認チェック項目

WEBからの履修登録がすべて終わったら、以下の項目を確認してください。

- 秋学期の科目も忘れずに登録しましたか？
- メニュー「履修登録確認」にて、自分が希望している科目がすべて正しく表示されていますか？
- 「履修登録確認」画面を印刷し、保管できるようにしましたか？

4. 個人別時間割表の確認

4月22日(月)午前10時から、Oh-o! Meijiにログインし、必ず確認すること。

- ・ 各自必ず申請した科目が正しく登録されているか確認してください。
- ・ 個人別時間割表にエラー表示があった場合、履修の修正が必要です。対象者へは商学部事務室からOh-o! Meijiで修正方法をお知らせします。なお、手続きを行わなかった場合、履修エラーに関連する科目は履修することができません。
- ・ 情報関係科目や資格課程関係科目も申請した場合、学部科目と一緒に表示されます。

4. WEB履修に関するFAQ

Q1：パスワードを忘れてしまいました。

A1：ログインには、共通認証パスワード(「Oh-o! Meiji」で利用するパスワードのこと)が必要です。忘れてしまった場合は速やかに商学部事務室の窓口にて再発行の手続きをしてください。電話による再発行の問合せは受けません。

Q2：パスワードを何度入力してもログインできません。

A2：学生番号及びパスワードは、すべて半角で入力していますか？入力仕様をよく確認してください。また、間違ったパスワードを繰り返し入力すると、ロックが掛かってしまいます。この場合も再発行の手続きを取ってください。

Q3：時間割表に載っている科目を登録しようとしたのですが、画面上に表示されません。

A3：所属学部、学年、カリキュラムによって履修できない科目は表示されません。その科目が本当に履修できる科目なのかもう一度確認してください。履修できるはずの科目が表示されない場合は、商学部事務室まで申し出てください。

Q4：登録したはずの科目が登録されていません。

A4：科目を選択後、「申込み」ボタンをクリックしましたか？「申込み」ボタンをクリックしないと科目は登録されません。もう一度登録しなおしてください。また、複数画面で操作している場合、正常な動作が担保されません。履修登録画面で登録していても「履修登録確認」画面に表示されていない場合、正常に登録できていない可能性がございますので必ず「履修登録確認」画面で確認してください。

Q5：削除したはずの科目が消えていません。

A5：「0000aモジュールのみ取り消し」または「0000bモジュールのみ取り消し」を選択後、「申込み」ボタンをクリックしましたか？「申込み」ボタンをクリックしないと科目は削除されません。もう一度削除しなおしてください。

Q 6：履修登録時のエラーメッセージについて、具体的には何が原因で表示されるのですか？

A 6：表示されるメッセージと原因は以下のとおりです。

エラーメッセージ	原因
この授業科目は既修得科目あるいは既登録科目との重複条件に違反しています。	前年度までに当該科目を修得しているため。または、今年度に当該科目を既に履修登録しているため。
この授業科目の前提修得科目条件を満たしていません。	当該科目の履修前提条件を満たしていないため。
同じ曜日に異なる開講地区への移動条件を満たしていません。	他地区へ移動する時間が確保されていないため。
学部（共通教育）を選択して下さい。	学部のチェックボックスを選択していないため。

Q 7：大学内のパソコンを利用するにはどうすればよいですか？

A 7：各地区で手続きが異なります。パソコンを利用するキャンパスのメディア支援事務室で確認してください。

※学内で利用可能なパソコンについて

以下の場所にて大学設置のパソコンを利用することができます。ただし、履修登録受付期間は大変混み合うことが予想されますので、登録は早めに行うよう心掛けてください。

なお、以下の事務室では、履修内容に関する質問は一切受け付けられません。

キャンパス・窓口	場 所
《駿河台キャンパス》 12号館7F メディア支援事務室	■リパティタワー 中央図書館1階 ■12号館 メディア自習室（8階） ・その他時間により開放されている施設もあります。 ※就職キャリア支援センターのパソコンはWEB履修登録には利用できません。
《和泉キャンパス》 メディア棟1F 和泉メディア支援事務室	■和泉メディア棟 メディア自習室（2階） ・その他時間により開放されている施設もあります。
《生田キャンパス》 中央校舎5F 生田メディア支援事務室	■中央校舎 情報処理教室（5階） ・利用できる教室は指定されています。 ※生田キャンパス内のオープンスペースのパソコンも利用することができます。
《中野キャンパス》 低層棟3F 中野教育研究支援事務室	■高層棟 メディア自習室（2階） ・その他時間により開放されている施設もあります。

【注意】利用可能な日時、教室及び端末等利用に関する詳細は、各キャンパスのメディア支援事務室で確認してください。

—学部共通科目紹介—

商学部における単位及び履修の取り扱いは「商学部便覧」及び「商学部シラバス」で確認してください。また、学部共通科目のシラバスは以下リンク先から詳細を確認してください。



URL : <https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/index.html>

1. 全学共通総合講座

学部設置のカリキュラムを基礎としながら、学部や文理の枠を越えた学際的授業を提供しています。学生の学問的視野を広げ、問題発見能力や判断力を養うことができます。各分野で活躍するゲスト講師を招き、現代社会で話題となっている事柄、最先端のホットなニュース等をテーマに取り上げていきます。履修登録方法や科目の詳細等は「全学共通総合講座履修の手引き及びシラバス」を参照してください。

2. 学部間共通外国語科目

各学部の外国語教育とは別に学部の枠を超えて自由に履修できる外国の共通科目です。特徴として、ネイティブスピーカーの講師による会話を中心とした科目が多いことや夏季/春季の休暇期間に、集中講座を開講していることがあります。履修登録方法や科目の詳細等は「学部間共通外国語履修の手引き及びシラバス」を参照してください。

3. グローバル人材育成プログラム

グローバル人材育成プログラムでは、将来、協定留学や海外進学する人材、国際機関や企業において世界を舞台に活躍する人材を育成します。グローバル人材育成プログラムで提供する科目を合わせて履修することで、より広範な知識と専門性を身に付けることが可能になります。履修登録方法や科目の詳細等は「2023年度グローバル人材育成プログラム科目一覧」等を参照してください。

4. 情報関係科目

情報に関する基礎的な知識と、情報技術を活用するために必要な情報機器の基本操作を習得し、各学部の教育におけるリテラシーとしての役割を担っています。また、情報化が進展する社会へ積極的に参画できる能力を養うことを目標としています。履修登録方法や科目の詳細等は「情報関係科目シラバス」等を参照してください。

《明治大学数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム》

数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うプログラムが2022年度より開始されています。全学共通総合講座・情報関係科目の一部の科目が本プログラムの修了要件として認められます。商学部の修了要件等の詳細はHPからご確認ください。



「Oh-o! Meiji システム」(https://oh-o2.meiji.ac.jp) は、明治大学の教育・研究をインターネット上に公開し、より一層効果的なものにするために開発された全学的な教育サポートシステムです。このシステムは、明治大学の全ての授業情報をネット上に展開した「クラスウェブ」と、明治大学での生活に関わるお知らせを各自に配信する「ポータル」などの機能から構成されています。

「クラスウェブ」を利用することにより、「いつ」でも「どこから」でも、教員・学生双方が明治大学のすべての授業情報にアクセスできます。学生のみなさんは、教室において「授業を聞く」というだけの受動的な姿勢から、クラスウェブで得られる多様な情報を事前・事後の学習に生かすことにより、能動的に授業に参加していくことができるでしょう。^{注1}

クラスウェブでは、明治大学で開設されている個々の科目についての、さまざまな情報がウェブ上に公開されています。シラバスの閲覧をはじめ、授業資料のダウンロード、授業内容の予習・復習、レポートの提出、ディスカッション（掲示板）による意見交換、教員からのお知らせの確認などに活用することができます。

大学生活を送る上で必要な情報は「ポータル」で確認できます。ポータルは、大学のあらゆる情報を、必要に応じてみなさんへ提供することを目指すものです。例えば成績表や健康診断結果などをオンラインで確認できますし、事務室からの連絡や休講情報等のお知らせもオンラインで確認できます。ポータルに表示されるお知らせは、PC や携帯電話のメールアドレスに転送することもできます。^{注2}

明大生にとって、「Oh-o! Meiji システム」は大学生活の一部となり、よりよい学生生活を支援するシステムとして発展していきます。ぜひ、活用して下さい。

注1

公開される内容は教員ごとに異なります。

注2

お知らせ転送設定について

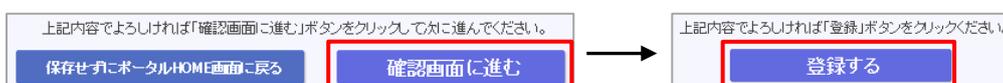
- ① Oh-o!Meiji (PC版) へログイン後、【個人設定】をクリック



- ② 転送先メールアドレスを入力し、お知らせ種類別にメール転送設定を確認する

※ 転送先メールアドレスは2つまで登録可能

- ③ ページ下部の【確認画面に進む】をクリックし、確認画面で【登録する】をクリックする



- ④ 転送設定したメールアドレスで「登録メールアドレスの確認」メールが受信できることを確認する

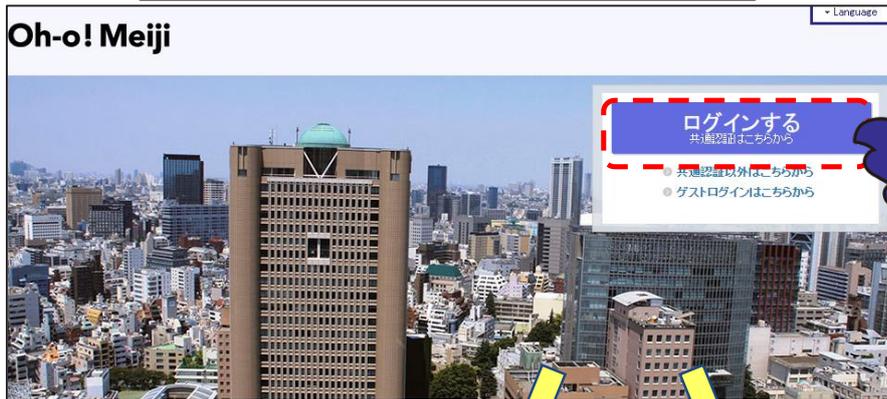
「Oh-o! Meiji システム」の利用イメージ

Oh-o! Meiji システムのトップページ (<https://oh-o2.meiji.ac.jp>) へアクセスします。「ログインする」をクリックすると、明治大学の共通認証の画面が表示されます。ここで「学生番号」と「パスワード」を入力してください。「学生番号」は学生証にある10桁の番号です。「パスワード」は、証明書発行機の利用と同じもので、新入生は入学手続き時に初期パスワードとして登録したものです。

※ パスワードが分からない場合は、各学部窓口で変更手続きをしてください。

Oh-o! Meiji システムトップページ

<https://oh-o2.meiji.ac.jp>



★ ポータル ★

お知らせ、カレンダー、成績表、健康診断結果など、大学生活に関わる様々な情報にアクセス



★ クラスウェブ ★

時間割表から、履修している科目の授業ページにアクセス



授業ページには
 ・シラバス
 ・授業内容・資料
 ・レポート
 ・小テスト
 ・ディスカッション
 ・アンケート
 等の機能があります

★ 授業検索 ★

曜日・時限、講義名、教員名、シラバスの全文検索などにより講義を検索する



II 授業科目及び担当者

入学年度のカリキュラムにより履修できない科目（※）や、一部科目名称、単位数が異なる場合があります（*印）。

2022年度以前の入学者は以下の一覧表とともに、80ページの「科目名対照表(カリキュラム年度別)」および別途配布する時間割表を確認してください。

メディア授業科目については、Oh-olMeijiシステムで確認してください。科目名称の末尾に〔M〕が表示されている科目がメディア授業科目になります。また、対面授業科目でも、メディア授業を実施する科目がございますので、シラバスをご確認ください。

メディア授業科目は、60単位を超えない範囲で、卒業の要件として修得すべき単位数に参入できます。

1. 授業科目及び担当者一覧表

※2023年度以降入学者のみ履修可能

* 80 ページ「科目名対照表」参照

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者	
基礎教育科目	1	基礎演習	2	別表Ⅰ	
		文章表現	2	別表Ⅱ	
		経済学A	2	水野 勝之	
				安藤 詩緒	
				呉 東錫	
				賈 執孝	
		経済学B	2	水野 勝之	
				安藤 詩緒	
呉 東錫					
賈 執孝					
総合教育科目	1・2	日本文化史A	2	清水 克行	
		日本文化史B	2	清水 克行	
		西洋文化史A	2	北田 葉子	
		西洋文化史B	2	北田 葉子	
		日本語表現論A	2	石出 靖雄	
				片山 久留美	
		日本語表現論B	2	石出 靖雄	
				片山 久留美	
		日本近代文学A	2	永井 善久	
				西山 春文	
		日本近代文学B	2	永井 善久	
				西山 春文	
	日本古典文学A	2	中村 成里		
	日本古典文学B	2	中村 成里		
	宗教学A	2	開講せず		
	宗教学B	2			
	3・4	外国文学（西洋）A	2	開講せず	
					外国文学（西洋）B
		外国文学（東洋）A	2	開講せず	
					外国文学（東洋）B
芸術（音楽）A		2	増野 亜子		
芸術（音楽）B		2	増野 亜子		
芸術（美術）A		2	千葉 慶		
芸術（美術）B		2	新保 淳乃		

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者	
総合教育科目	1・2	法学A	2	設楽 浩吉 平松 直登	
		法学B	2	設楽 浩吉 平松 直登	
		アジア史A	2	鳥居 高	
		アジア史B	2	鳥居 高	
		地理学A	2	中川 秀一	
		地理学B	2	中川 秀一	
		社会学A	2	鈴木 亜矢子	
		社会学B	2	鈴木 亜矢子	
		社会思想史A	2	清水 明美	
		社会思想史B	2	清水 明美	
		3・4	日本思想史A	2	開講せず
			日本思想史B	2	
	政治学A		2	三森 ちかし	
	政治学B		2	三森 ちかし	
	人類学A		2	岡庭 義行	
	人類学B		2	岡庭 義行	
	1・2	哲学A	2	木山 裕登	
		哲学B	2	木山 裕登	
		自然科学概論A	2	森永 由紀	
		自然科学概論B	2	亀山 浩文	
		生命科学A	2	浅賀 宏昭	
		生命科学B	2	浅賀 宏昭	
		線型数学A	2	鴨井 祐二	
		線型数学B	2	鴨井 祐二	
		解析数学A	2	鴨井 祐二	
		解析数学B	2	鴨井 祐二	
		化学A	2	久富木 志郎	
		化学B	2	久富木 志郎	
言語学A		2	吉田 浩美		
言語学B		2	吉田 浩美		
論理学A		2	金子 裕介		
論理学B		2	金子 裕介		
心理学A		2	佐々木 美加		
心理学B		2	佐々木 美加		
3・4		物理学A	2	洞口 拓磨	
		物理学B	2	洞口 拓磨	
	環境科学A	2	森永 由紀		
	環境科学B	2	森永 由紀		

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者					
外国人留学生のための科目	1・2	日本事情A	2	永川 聡					
		日本事情B	2	菊地 端夫					
		日本事情C	2	開講せず					
		日本事情D	2	開講せず					
		日本事情E	2	森永 由紀					
総合学際演習	2	総合学際演習	2	演習室案内、 Oh-ol Meiji公開シラバス参照					
	3		2						
	4		2						
	2 3 4	特別テーマ演習科目（総合教育科目）A※	2	開講せず					
		特別テーマ演習科目（総合教育科目）B※	2						
		特別テーマ演習科目（総合教育科目）C※	2						
		特別テーマ演習科目（総合教育科目）D※	2						
		特別認定科目（総合教育科目）※	2						
外国語科目	必修	口語英語Ⅰ	1	別表Ⅲ－①					
		口語英語Ⅱ	1						
		英語講読Ⅰ	1						
		英語講読Ⅱ	1						
		基礎英語Ⅰ	1	小宮 彩加	1	瀧口 美香			
				江頭 浩樹		平野井 ちえ子			
				基礎英語Ⅱ		1	小宮 彩加	1	瀧口 美香
							江頭 浩樹		平野井 ちえ子
		上級英語Ⅰ	1		石黒 太郎		1		加藤 健太
					小宮 彩加				ジェームズ, アンドリユー S.
				高橋 三和子	趙 泰昊				
				中島 渉	ルブレクト, ブライアン G.				
				上級英語Ⅱ	1	石黒 太郎		1	加藤 健太
						小宮 彩加			ジェームズ, アンドリユー S.
						高橋 三和子			趙 泰昊
						中島 渉			ルブレクト, ブライアン G.
	発展英語	3・4	1			1	ルブレクト, ブライアン G.		
佐藤 寛子									

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者		
外国語科目	必修	初習外国語	1	初級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ－②
				初級ドイツ語Ⅱ	1	
				初級ドイツ語Ⅲ	1	
				初級ドイツ語Ⅳ	1	
			2	中級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ－②
				中級ドイツ語Ⅱ	1	
				中級ドイツ語Ⅲ	1	
				中級ドイツ語Ⅳ	1	
			1・2	特別ドイツ語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別ドイツ語Ⅱ	1	
				特別ドイツ語Ⅲ	1	
				特別ドイツ語Ⅳ	1	
		1	初級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ－③	
			初級フランス語Ⅱ	1		
			初級フランス語Ⅲ	1		
			初級フランス語Ⅳ	1		
		2	中級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ－③	
			中級フランス語Ⅱ	1		
			中級フランス語Ⅲ	1		
			中級フランス語Ⅳ	1		
		1・2	特別フランス語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する	
			特別フランス語Ⅱ	1		
			特別フランス語Ⅲ	1		
			特別フランス語Ⅳ	1		
		1	初級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－④	
			初級中国語Ⅱ	1		
			初級中国語Ⅲ	1		
			初級中国語Ⅳ	1		
		2	中級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－④	
			中級中国語Ⅱ	1		
			中級中国語Ⅲ	1		
			中級中国語Ⅳ	1		
1	初級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑤			
	初級韓国語Ⅱ	1				
	初級韓国語Ⅲ	1				
	初級韓国語Ⅳ	1				
2	中級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑤			
	中級韓国語Ⅱ	1				
	中級韓国語Ⅲ	1				
	中級韓国語Ⅳ	1				
1	初級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑥			
	初級スペイン語Ⅱ	1				
	初級スペイン語Ⅲ	1				
	初級スペイン語Ⅳ	1				

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者	
外国語科目	必修	中級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑥	
		中級スペイン語Ⅱ	1		
		中級スペイン語Ⅲ	1		
		中級スペイン語Ⅳ	1		
		初級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する	
		初級ロシア語Ⅱ	1		
		初級ロシア語Ⅲ	1		
		初級ロシア語Ⅳ	1		
		中級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する	
		中級ロシア語Ⅱ	1		
		中級ロシア語Ⅲ	1		
		中級ロシア語Ⅳ	1		
	1・2	日本語 ※外国人留学生のみ選択可	1	日本語シラバス参照	
	選択	1	初級ドイツ語プラスワン	1	渡辺 徳美
		2	中級ドイツ語プラスワン	1	渡辺 徳美
		3・4	上級ドイツ語	1	シックハウス, トビマス
		4	発展ドイツ語	1	ゲスナー, ゲジーネ
		1	初級フランス語プラスワン	1	富塚 真理子
		2	中級フランス語プラスワン	1	ディオ, ロドルフ シリル
		3・4	上級フランス語	1	松原 陽子
		4	発展フランス語	1	松原 陽子
		1	初級中国語プラスワン	1	葉 紅
		2	中級中国語プラスワン	1	葉 紅
		3・4	上級中国語	1	三田 剛史 江田 いづみ
		4	発展中国語	1	石井 知章
		1	初級韓国語プラスワン	1	高 成鳳
		2	中級韓国語プラスワン	1	李 興淑
		3・4	上級韓国語	1	高 成鳳
		4	発展韓国語	1	桔川 純子
		1	初級スペイン語プラスワン	1	開講せず
		2	中級スペイン語プラスワン	1	井関 睦美
	3・4	上級スペイン語	1	松尾 俊輔	
	保健体育科目	1	体育・スポーツ実習A	1	別表Ⅲ－⑦、シラバス2および 選択体育実技パンフレット シラバス参照
			体育・スポーツ実習B	1	
2		選択スポーツ実習	1		
3・4		選択集中スポーツ実習	1		
1・2		スポーツとグローバルゼーション	2	澤井 和彦	
2		スポーツと健康	2	桑森 真介	

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者		
基本科目	1・2	ミクロ経済学	2	千田 亮吉 山田 知明		
		マクロ経済学	2	千田 亮吉 山田 知明		
		理論経済学A	2	植村 博恭		
		理論経済学B	2	植村 博恭		
		経済史A (*1)	2	井上 達樹		
		経済史B (*2)	2	井上 達樹		
		商業総論A	2	竹村 正明		
			2	庄司 真人		
		商業総論B	2	竹村 正明		
			2	庄司 真人		
		経営学総論A	2	會澤 綾子		
			2	水村 典弘		
	経営学総論B	2	會澤 綾子			
		2	水村 典弘			
	1	簿記学A	2	神田 良介 渡邊 雅雄 葛 暁鵬 吉沢 壮二郎		
			2	渡邊 智		
			簿記学B	2	神田 良介 渡邊 雅雄 葛 暁鵬 吉沢 壮二郎	
				2	渡邊 智	
		1・2		会計学総論A	2	梅原 秀継
				会計学総論B	2	前田 陽
			統計学A	2	小林 弦矢	
			統計学B	2	小林 弦矢	
	金融総論A		2	小原 英隆		
	金融総論B		2	小原 英隆		
	貿易総論A		2	森元 晶文		
	貿易総論B	2	鈴木 仁里			
	1	ビジネス・インサイト (*3)	2	高野 公三子 中山 千尋 松尾 隆策 齋藤 美和子		
	1	商学入門 (*4)	2	山本 昌弘		
	1 2	商学研究入門 (*5)	2	西 剛広		
	1 4	Essentials of Commerce A (*6)	2	中山 千尋		
		Essentials of Commerce B (*7)	2	中山 千尋		
	2 4	特別テーマ演習科目(基本科目)A※	2	開講せず		
		特別テーマ演習科目(基本科目)B※	2	開講せず		
		特別認定科目(基本科目)※	2			
2	商学専門演習(2年)(*8)	2	演習室案内、 Oh-o! Meiji公開シラバス参照			

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目 アプライド・ エコノミクスコース	3・4	経済政策論A	2	山田 知明
		経済政策論B	2	山田 知明
		公共経済学	2	畑農 鋭矢
		財政学	2	畑農 鋭矢
		中小企業論A	2	熊澤 喜章
		中小企業論B	2	熊澤 喜章
		産業組織論A	2	海老名 剛
		産業組織論B	2	海老名 剛
		地域経済論A	2	開講せず
		地域経済論B	2	開講せず
		国際経済学A	2	高浜 光信
		国際経済学B	2	高浜 光信
		日本経済論A	2	千田 亮吉
		日本経済論B	2	千田 亮吉
		環境経済学A	2	赤石 秀之
		環境経済学B	2	赤石 秀之
		計量経済学A	2	水野 勝之
		計量経済学B	2	水野 勝之
		金融論A	2	小原 英隆
				土屋 陽一
		金融論B	2	小原 英隆
				土屋 陽一
		国際金融論A	2	太田 壘
		国際金融論B	2	太田 壘
		貿易論A	2	所 康弘
		貿易論B	2	所 康弘
		世界経済論A	2	佐々木 優
		世界経済論B	2	佐々木 優
		労使関係論A	2	久保 隆光
		労使関係論B	2	久保 隆光
		企業論 (*21)	2	會澤 綾子
		日本経営史 (*22)	2	円城寺 敬浩
		公益事業論A	2	大塚 良治
		公益事業論B	2	大塚 良治
		経営情報システム論A	2	村田 潔
		経営情報システム論B	2	村田 潔
		企業と環境問題	2	森永 由紀
		中国政治経済論	2	三田 剛史
	東南アジア政治経済論	2	鳥居 高	
	産業立地論	2	中川 秀一	
	経済予測入門A (*23)	2	蟹澤 啓輔	
	経済予測入門B (*24)	2	蟹澤 啓輔	
3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ	

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者	
基幹科目	マーケティングコース	商業経営論A	2	菊池 一夫	
		商業経営論B	2	菊池 一夫	
		マーケティング管理論A	2	加藤 拓巳	
		マーケティング管理論B	2	加藤 拓巳	
		市場調査論A	2	福田 康典	
		市場調査論B	2	福田 康典	
		広告論A (*9)	2	竹内 亮介	
		広告論B (*10)	2	竹内 亮介	
		インダストリアルマーケティング論A (*11)	2	中 麻弥美	
		インダストリアルマーケティング論B (*12)	2	中 麻弥美	
		商品学A	2		高橋 昭夫
					上原 義子
		商品学B	2		高橋 昭夫
					上原 義子
		流通史A (*13)	2	若林 幸男	
		流通史B (*14)	2	若林 幸男	
		消費者行動論A (*15)	2	佐藤 平国	
		消費者行動論B (*16)	2	佐藤 平国	
		マーケティング企画A	2		高橋 昭夫
					福田 康典
					佐藤 敏久
					劉 亜水
		マーケティング企画B	2		高橋 昭夫
					福田 康典
					佐藤 敏久
					劉 亜水
		交通論A	2	藤井 秀登	
		交通論B	2	藤井 秀登	
		物的流通論A	2	合田 浩之	
		物的流通論B	2	合田 浩之	
		国際交通論A	2	町田 一兵	
		国際交通論B	2	町田 一兵	
		都市・地域交通論A	2	恩田 陸	
		都市・地域交通論B	2	恩田 陸	
		公益事業論A	2	大塚 良治	
		公益事業論B	2	大塚 良治	
		観光事業論A	2	藤井 秀登	
		観光事業論B	2	藤井 秀登	
		産業組織論A	2	海老名 剛	
		産業組織論B	2	海老名 剛	
		情報管理論A	2	山下 洋史	
		情報管理論B	2	山下 洋史	
		国際マーケティング論A	2		鈴木 仁里
					深澤 琢也
		国際マーケティング論B	2		鈴木 仁里
					深澤 琢也
		流通システム論A	2	原 頼利	
		流通システム論B	2	原 頼利	
		クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠	
		クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠	
		3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目 ファイナンス& インシュアランス コース	3・4	金融論A	2	小原 英隆 土屋 陽一
		金融論B	2	小原 英隆 土屋 陽一
		コーポレート・ファイナンスA	2	朝岡 大輔
		コーポレート・ファイナンスB	2	朝岡 大輔
		金融機関論A	2	伊藤 隆康
		金融機関論B	2	伊藤 隆康
		国際金融論A	2	太田 壘
		国際金融論B	2	太田 壘
		金融取引論A	2	萩原 統宏
		金融取引論B	2	萩原 統宏
		証券市場論A	2	野田 顕彦
		証券市場論B	2	野田 顕彦
		機関投資家論A	2	三和 裕美子
		機関投資家論B	2	三和 裕美子
		保険学A	2	中林 真理子
		保険学B	2	中林 真理子
		損害保険論A	2	柳瀬 典由
		損害保険論B	2	柳瀬 典由
		生命保険論	2	浅井 義裕
		社会保障論A	2	畔上 秀人
		社会保障論B	2	畔上 秀人
		保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
		保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
		会計情報論A	2	名越 洋子
		会計情報論B	2	名越 洋子
		ベンチャー・ファイナンスA (*25)	2	姜 理恵
		ベンチャー・ファイナンスB (*26)	2	姜 理恵
		3	外国専門書講読	2

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	3・4	グローバル・ビジネスコース		
		貿易論A	2	所 康弘
		貿易論B	2	所 康弘
		国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
				深澤 琢也
		国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
				深澤 琢也
		貿易商務論A	2	篠原 敏彦
		貿易商務論B	2	篠原 敏彦
		貿易政策論A	2	小林 尚朗
		貿易政策論B	2	小林 尚朗
		ビジネス英語A	2	山本 雄一郎
		ビジネス英語B	2	山本 雄一郎
		バーバル・ビジネス英語A	2	塩澤 恵理
		バーバル・ビジネス英語B	2	塩澤 恵理
		国際ビジネス交渉論A	2	中谷 安男
		国際ビジネス交渉論B	2	中谷 安男
		北米地域市場論	2	朝比奈 剛
		欧州地域市場論	2	一ノ渡 忠之
		中南米地域市場論	2	所 康弘
		アジア・太平洋地域市場論	2	朱 永浩
		世界経済論A	2	佐々木 優
		世界経済論B	2	佐々木 優
		国際経済学A	2	高浜 光信
		国際経済学B	2	高浜 光信
		国際金融論A	2	太田 壘
		国際金融論B	2	太田 壘
		国際交通論A	2	町田 一兵
		国際交通論B	2	町田 一兵
		物的流通論A	2	合田 浩之
		物的流通論B	2	合田 浩之
		国際経営論A	2	内堀 敬則
				鷲見 淳
	国際経営論B	2	内堀 敬則	
鷲見 淳				
3		外国専門書講読	2	別表IV

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目 マネジメントコース	3・4	経営戦略論A	2	西 剛広 近藤 光
		経営戦略論B	2	西 剛広 近藤 光
		生産管理論A	2	富野 貴弘
		生産管理論B	2	富野 貴弘
		情報管理論A	2	山下 洋史
		情報管理論B	2	山下 洋史
		経営情報システム論A	2	村田 潔
		経営情報システム論B	2	村田 潔
		経営組織論 (*17)	2	佐藤 香織
		経営労務論 (*18)	2	佐藤 香織
		労使関係論A	2	久保 隆光
		労使関係論B	2	久保 隆光
		経営管理論 (*19)	2	會澤 綾子
		産業心理学 (*20)	2	東海 詩帆
		経営哲学	2	出見世 信之
		経営倫理	2	水村 典弘
		企業論 (*21)	2	會澤 綾子
		日本経営史 (*22)	2	円城寺 敬浩
		国際経営論A	2	内堀 敬則 鷲見 淳
		国際経営論B	2	内堀 敬則 鷲見 淳
		ベンチャービジネス論	2	久米 信行
		クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
		クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
		企業と倫理A	2	出見世 信之
		企業と倫理B	2	金子 裕介
		保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
		保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
		ファッション・ビジネス論A	2	東野 香代子
		ファッション・ビジネス論B	2	東野 香代子
		企業評価論A	2	奈良 沙織
	企業評価論B	2	奈良 沙織	
	3	外国専門書講読	2	別表IV

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目 アカウントティング コース	3・4	財務会計論A	2	姚 俊
		財務会計論B	2	姚 俊
		原価計算論A	2	千葉 修身
		原価計算論B	2	千葉 修身
		意思決定会計論A	2	前田 陽
		意思決定会計論B	2	前田 陽
		業績管理会計論A	2	小田 康治
		業績管理会計論B	2	小田 康治
		監査論A	2	加藤 達彦
		監査論B	2	加藤 達彦
		経営分析論A	2	王 志
		経営分析論B	2	王 志
		税務会計論A	2	神田 良介
		税務会計論B	2	神田 良介
		国際会計論A	2	山本 昌弘
		国際会計論B	2	山本 昌弘
		会計情報論A	2	名越 洋子
		会計情報論B	2	名越 洋子
		企業評価論A	2	奈良 沙織
		企業評価論B	2	奈良 沙織
		企業法A	2	秋坂 朝則
		企業法B	2	秋坂 朝則
		租税法A	2	松原 有里
		租税法B	2	松原 有里
		コーポレート・ファイナンスA	2	朝岡 大輔
		コーポレート・ファイナンスB	2	朝岡 大輔
		金融取引論A	2	萩原 統宏
		金融取引論B	2	萩原 統宏
	実践会計論A	2	山口 不二夫	
	実践会計論B	2	富田 竜一	
	3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	3・4	異文化間コミュニケーション論	2	加藤 健太
		バイオテクノロジーとバイオビジネス	2	浅賀 宏昭
		企業と倫理A	2	出見世 信之
		企業と倫理B	2	金子 裕介
		企業と環境問題	2	森永 由紀
		メディアとリテラシー	2	滝口 直樹
		中国政治経済論	2	三田 剛史
		東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
		スポーツビジネス論	2	澤井 和彦
		レジャービジネス論	2	野澤 智行
		産業立地論	2	中川 秀一
		経済予測入門A (*23)	2	蟹澤 啓輔
		経済予測入門B (*24)	2	蟹澤 啓輔
		流通システム論A	2	原 頼利
		流通システム論B	2	原 頼利
		ベンチャー・ファイナンスA (*25)	2	姜 理恵
		ベンチャー・ファイナンスB (*26)	2	姜 理恵
		e-ビジネスA	2	上原 衛
		e-ビジネスB	2	上原 衛
		ビジネス法務A	2	片山 史英
		ビジネス法務B	2	中川 達也
		ベンチャービジネス論	2	久米 信行
		実践会計論A	2	山口 不二夫
		実践会計論B	2	富田 竜一
		クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
		クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
		ファッション・ビジネス論A	2	東野 香代子
		ファッション・ビジネス論B	2	東野 香代子
		消費者行動論A	2	佐藤 平国
		消費者行動論B	2	佐藤 平国
		ビジネス英語A	2	山本 雄一郎
		ビジネス英語B	2	山本 雄一郎
		経営戦略論A	2	西 剛広 近藤 光
	経営戦略論B	2	西 剛広 近藤 光	
企業評価論A	2	奈良 沙織		
企業評価論B	2	奈良 沙織		
	3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ
商学専門演習	2		2	演習室案内、 Oh-ol Meiji公開シラバス参照
	3	商学専門演習	2	
	4		2	

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
応用展開科目	1 2	総合講座B(ビジネスの現場)	2	開講せず
	1 4	総合講座A(全学共通総合講座)	2	学部間共通総合講座シラバス参照
		総合講座B(全学共通総合講座)	2	
		総合講座C(全学共通総合講座)	2	
		総合講座D(全学共通総合講座)	2	
	1 2	会計特殊講義A	2	吉川 信将
		会計特殊講義B	2	小松 義明
	3 4	Applied Commerce A	2	臼井 哲也
		Applied Commerce B	2	臼井 哲也
	1 4	特別テーマ実践科目A	2	Oh-o! Meijiグループ参照
		特別テーマ実践科目B	2	
		特別テーマ実践科目C	2	
		特別テーマ実践科目D	2	
	1 4	特別テーマ研究科目A	2	Oh-o! Meijiグループ参照
		特別テーマ研究科目B	2	
		特別テーマ研究科目C	2	
		特別テーマ研究科目D	2	
		特別テーマ研究科目E	2	開講せず
		特別テーマ研究科目F	2	開講せず
	1 4	特別テーマ海外研修科目A	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目B	2	Oh-o! Meijiグループ参照
		特別テーマ海外研修科目C	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目D	2	
	1 4	地域活性化システム論A	2	中川 秀一
		地域活性化システム論B	2	松尾 隆策 樋渡 雅幸
	3 4	外国文化・言語特殊講義A	2	石黒 太郎
		外国文化・言語特殊講義B	2	石黒 太郎
3	ジョブ・インターンシップ	2	開講せず	
上記以外の応用展開科目は今年度開講せず				

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
その他	1・2	憲法A	2	江藤 英樹
		憲法B	2	江藤 英樹
	3・4	民法A	2	神田 英明
		民法B	2	神田 英明
		商法A	2	陳 亮
		商法B	2	陳 亮
		労働法A	2	小林 大祐
		労働法B	2	小林 大祐
	4	外国文献講読	2	開講せず
	1 4	ICTエレメンタリー	2	情報関係科目シラバス参照
		ICTベーシックⅠ	2	
		ICTベーシックⅡ	2	
		ICT統計解析Ⅰ	2	
		ICT統計解析Ⅱ	2	
		ICTデータベースⅠ	2	
		ICTデータベースⅡ	2	
		ICTメディア編集Ⅰ	2	
		ICTメディア編集Ⅱ	2	
		ICTアプリ開発Ⅰ	2	
		ICTアプリ開発Ⅱ	2	
		ICTコンテンツデザインⅠ	2	
		ICTコンテンツデザインⅡ	2	
		ICT総合実践Ⅰ	2	
ICT総合実践Ⅱ	2			
大学院 商学研究科 設置科目	4		2 又は 4	大学院シラバス参照 ※卒業要件には含まれません
専門職大学院 会計専門職研究科 設置科目	4		2 又は 4	専門職大学院シラバス参照 ※卒業要件には含まれません
資格課程関係科目	1 4	日本史概論	2	資格課程関係科目シラバス参照 ※資格課程対象者のみ履修可。 ※2017年度以降の入学で資格課程履修者は、8単位まで卒業要件単位に含めることができます。
		東洋史概論	2	
		西洋史概論	2	
		人文地理学概論	2	
		自然地理学概論	2	
		地誌学概論	2	
		法律学概論	2	
		政治学概論	2	
		哲学概論	2	
		倫理学概論	2	
		職業指導	2	

2. 科目名対照表 (2022年度以前入学者用)

入学年度によって65～79ページと科目名や単位数等が異なっている場合があります。65～79ページと異なる場合は、以下に入学年度のカリキュラムに応じた科目名や単位数を掲載します。該当の入学年度を確認して履修してください。

	65～79ページの科目名	2022年度入学者	2021年度入学者	2020年度以前入学者
*1	経済史A	同左	欧米経済史	
*2	経済史B	同左	アジア経済史	
*3	ビジネス・インサイト	フューチャースキル講座：応用展開科目		
*4	商学入門	総合講座（商学入門）：応用展開科目		
*5	商学研究入門	商学入門（商学研究入門）：応用展開科目		
*6	Essentials of Commerce A	Essentials of Commerce A：応用展開科目		
*7	Essentials of Commerce B	Essentials of Commerce B：応用展開科目		
*8	商学専門演習（2年）	商学専門演習（2年）：商学専門演習科目		
*9	広告論A（2単位）	同左	広告論（4単位）	
*10	広告論B（2単位）	同左		
*11	インダストリアルマーケティング論A（2単位）	同左	インダストリアルマーケティング論（4単位）	
*12	インダストリアルマーケティング論B（2単位）	同左		
*13	流通史A（2単位）	同左	流通史（4単位）	
*14	流通史B（2単位）	同左		
*15	消費者行動論A（2単位）	同左	消費者行動論（4単位）	
*16	消費者行動論B（2単位）	同左		
*17	経営組織論	同左	経営労務論A	
*18	経営労務論	同左	経営労務論B	
*19	経営管理論	同左	産業心理学A	
*20	産業心理学	同左	産業心理学B	
*21	企業論	同左	日本経営史A	
*22	日本経営史	同左	日本経営史B	
*23	経済予測入門A（2単位）	同左	経済予測入門（4単位）	
*24	経済予測入門B（2単位）	同左		
*25	ベンチャー・ファイナンスA（2単位）	同左	ベンチャー・ファイナンス（4単位）	
*26	ベンチャー・ファイナンスB（2単位）	同左		

3. 必修科目担当予定者一覧表

別表Ⅰ

基礎演習担当者
浅賀 宏昭
石井 知章
石出 靖雄
伊藤 隆康
太田 墨
葛 暁鵬
加藤 健太
桑森 真介
小林 弦矢
シックハウス, トビアス
清水 克行
高橋 文紀
高橋三和子
竹内久美子
趙 泰昊
土屋 陽一
永井 善久
中村 成里
西山 春文
野田 顕彦
萩原 統宏
ハディ ハーニ
洞口 拓磨
山崎喜代宏
余 漢燮
李 雨テイ
渡辺 徳美

別表Ⅱ

文章表現担当者
石出 靖雄
井筒 満
岡田 博子
片山久留美
唐澤 聖月
川島みどり
武田比呂男
永井 善久
長沼 英二
中村 成里
野本 聡
羽矢みずき
深津謙一郎
柳澤 幹夫

別表Ⅲ－①
英語担当予定者

一 年	組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	I・II 口語英語 担当者	佐藤 寛子	大和久 悌一郎	杉本 文四郎	横田 保恵	トウ エン	加藤 匠	高松 麻里	伊藤 健一郎	大島 有子	倉光 紀子	中川 千帆	長谷川 秀子	藤原 雅子	田中 茂彦	岡部 了也	式町 眞紀子	本間 裕子	
	I・II 英語講読 担当者	北沢 格	大島 有子	清水 由布紀	岩本 和良	伊藤 左千夫	佐藤 寛子	加藤 匠	柏原 俊樹	中川 千帆	中島 渉	今野 史昭	伊藤 健一郎	トウ エン	横田 保恵	小川 真理	佐藤 寛子	大和久 悌一郎	
	組	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33		
	I・II 口語英語 担当者	近野 幹結	鷺尾 郁	石黒 太郎	濱田 啓志	伊藤 左千夫	岩本 和良	加藤 健太	大島 有子	柏原 俊樹	北沢 格	熊谷 順子	中川 千穂	田中 茂彦	加藤 匠	内田 大貴	トウ エン		
	I・II 英語講読 担当者	式町 眞紀子	小峰 祥子	藤原 雅子	中川 千帆	長谷川 秀子	濟藤 葵	高橋 三和子	渡辺 賢一郎	野地 薫	佐藤 寛子	趙 泰昊	青木 敬子	花田 太平	野田 恵子	小泉 勇人	高山 真梨子		
	二 年	組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		I・II 口語英語 担当者	野地 薫	佐藤 寛子	渡辺 賢一郎	高山真梨子	野田 恵子	青木 敬子	濟藤 葵	ジエームズ, A	小泉 勇人	トウ エン	内田 大貴	三井 淳子	高松 麻里	鷺尾 郁	田中 茂彦	池田 しおり	濱田 啓志
I・II 英語講読 担当者		三井 淳子	高松 麻里	田中 茂彦	鷺尾 郁	濱田 啓志	中川 千帆	池田 しおり	伊藤 左千夫	岩本 和良	大島 有子	鷺尾 郁	小峰 祥子	倉光 紀子	杉本 文四郎	大島 有子	狩野 郁子	長谷川 秀子	
組		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33		
I・II 口語英語 担当者		熊谷 順子	趙 泰昊	玉川 明日美	堤 龍一郎	吉田 えりか	山下 理恵子	杉本 文四郎	倉光 紀子	狩野 郁子	大島 有子	野田 恵子	高松 麻里	久木田 直江	本間 裕子	田中 茂彦	蒔田 裕美		
I・II 英語講読 担当者		松田 隆美	トウ エン	本間 裕子	山下 理恵子	近野 幹結	田中 茂彦	横田 保恵	蒔田 裕美	久木田 直江	野田 恵子	瀧口 美香	平野井 ちえ子	玉川 明日美	岡田 優子	清水 由布紀	トウ エン		

和泉（再履修）科目担当予定者

石黒 太郎
小川 真理
高橋三和子
瀧口 美香

駿河台（再履修）科目担当予定者

石井英津子
瀧口 美香
本間 裕子

別表Ⅲ－②

ドイツ語担当予定者

年	組		1	2	3	4	5	6
	一	初級ドイツ語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	長田 浩	長田 浩	渡辺 徳美	小松 真帆	広沢 絵里子
初級ドイツ語 Ⅲ・Ⅳ		担当者	ロンドラー, ローマンD.	ロンドラー, ローマンD.	シックハウス, トビアス	赤池, エルフリーデM	オストヴァルト, イエンス	オストヴァルト, イエンス
二	組		1	2	3	4	5	6
	中級ドイツ語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	田中 謙司	田中 謙司	羽田野 まち子	羽田野 まち子	出縄 祐介	出縄 祐介
	中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ (テーマ別選択)	内容	ドイツ語 コミュニケーション	ドイツ語 コミュニケーション	独検対策	時事ドイツ語	ドイツ文化講読	オーストリア 文化講読
		担当者	イエンス オストヴァルト,	トビアス シックハウス,	渡辺 幸子	広沢 絵里子	大類 京子	小松 真帆

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
出縄 祐介
小松 真帆
渡辺 幸子

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
出縄 祐介
大類 京子
ゲスナー, ゲジーネ

別表Ⅲ－③

フランス語担当予定者

	組		7	8	9	10	11	12	13	
	一年	初級フランス語 I・II	担当者	明石 伸子	浅間 哲平	森 真太郎	杉村 裕史	久松 健一	松原 陽子	久松 健一
初級フランス語 III・IV		担当者	ドナテイ, ジャンアレキシC.	カルトン, マルチヌ	ベルナルミルティール, ロランヌ	パジエス, クリストフS	パジエス, クリストフS	カルトン, マルチヌ	ディオ, ロドルフC	
二年	組		7	8	9	10	11	12	13	14
	中級フランス語 I・II	担当者	江島 宏隆	余語 毅憲	杉村 裕史	富塚 真理子	富塚 真理子	杉村 裕史	余語 毅憲	高橋 明美
	中級フランス語Ⅲ・Ⅳ (テーマ別選択)	内容	フランス映画	フランス語会話	フランス語会話	実用フランス語	実践フランス語講座	フランス文学を読む	フランスの文化と生活	ディクテと音読・ フランス語
担当者		高橋 明美	ディオ, ロドルフC	クロズ山口 エリアンヌ	松原 陽子	久松 健一	浅間 哲平	明石 伸子	久松 健一	

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
江島 宏隆
高橋 明美

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
明石 伸子
高橋 明美

別表Ⅲ-④

中国語担当予定者

	組		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	一 年	初級中国語Ⅰ・Ⅱ	担当者	土田青	李旭	孫国震	陳英招	劉光赤	藤井喜一郎	孫国震	藤井喜一郎	劉光赤	葉進太郎	王学群	李旭
初級中国語Ⅲ・Ⅳ		担当者	鈴木仁麗	鈴木仁麗	森美千代	野本敬	江田憲治	三田剛史	野本敬	村上太輝夫	本田親史	廣瀬直記	廣瀬直記	森美千代	小林光考
二 年	組		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	中級中国語Ⅰ・Ⅱ	担当者	陳英招	藤井喜一郎	陳英招	劉光赤	土田青	藤井喜一郎	葉進太郎	李旭	李旭	王学群	藤井喜一郎	葉紅	王学群
	中級中国語Ⅲ・Ⅳ	担当者	江田憲治	井口博文	三田剛史	小林光考	井口博文	江田憲治	清水亨	江田いづみ	本田親史	本田親史	森美千代	森美千代	清水亨

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
清水 亨
孫 国震
藤井喜一郎
三田 剛史
森 美千代

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
江田 憲治
孫 国震
三田 剛史
村上太輝夫

別表Ⅲ－⑤

韓国語担当予定者者

	組		27	28	29
	一年	初級韓国語Ⅰ・Ⅱ	担当者	李 興淑	李 英美
初級韓国語Ⅲ・Ⅳ		担当者	李 英美	桔川 純子	李 英美
	組		28	29	30
	中級韓国語Ⅰ・Ⅱ	担当者	李 英美	高 成鳳	崔 先鎬
二年	中級韓国語Ⅲ・Ⅳ	担当者	崔 先鎬	李 興淑	桔川 純子

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
崔 先鎬

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
桔川 純子

別表Ⅲ－⑥
スペイン語担当予定者

	組		30	31	32	33
	一年	初級スペイン語 I・II	担当者	諸星 妙	敦賀 公子	渡辺 有美
初級スペイン語 III・IV		担当者	諸星 妙	敦賀 公子	渡辺 有美	渡辺 有美
二年	組		31	32	33	
	中級スペイン語 I・II	担当者	菅原 昭江	菅原 昭江	敦賀 公子	
	中級スペイン語 III・IV	担当者	バリエントスロドリゲス, ジョン ダビツ	フィシエレフ, ヴァレリア	フィシエレフ, ヴァレリア	

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
井関 睦美
バリエントスロドリゲス, ジョン ダビツ

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
井関 睦美
バリエントスロドリゲス, ジョン ダビツ

別表Ⅲ-⑦

2024年度体育・スポーツ実習A・B一覧表

曜日	時限	コース	開講期	担当者	種目	場所
水	1	ア	春学期	渡邊 新一郎	アクアスポーツ	プール
			秋学期	澤井 和彦	オルタナティブスポーツ	SR11
		イ	春学期	澤井 和彦	オルタナティブスポーツ	SR11
			秋学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
		ウ	春学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
			秋学期	渡邊 新一郎	アクアスポーツ	プール
	2	ア	春学期	阿部 巧	ソフトボール	グラウンド
			秋学期	渡邊 新一郎	アクアスポーツ	プール
		イ	春学期	渡邊 新一郎	ファンクショナルエクササイズ	SR11
			秋学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
		ウ	春学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
			秋学期	阿部 巧	バスケ	メインホール
	3	ア	春学期	今野 和志	バスケ(3on3)・ユニホック・ダーツ	SR11
			秋学期	渡邊 新一郎	ファンクショナルエクササイズ	SR11
		イ	春学期	渡邊 新一郎	ゴルフ	ゴルフ練習場
			秋学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
		ウ	春学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
			秋学期	今野 和志	バレーボール・バドミントン	サブホール
	4	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	SR11
			秋学期	今野 亮	フィットネス	フィットネスルーム
		イ	春学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
			秋学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
		ウ	春学期	今野 和志	フィットネス	フィットネスルーム
			秋学期	渡邊 新一郎	ゴルフ	ゴルフフレンジ
木	1	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
			秋学期	佐伯 徹郎	フィットネス	フィットネスルーム
		イ	春学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
			秋学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
		ウ	春学期	佐伯 徹郎	卓球	スポーツルームA
			秋学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
	2	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
			秋学期	佐伯 徹郎	フィットネス	フィットネスルーム
		イ	春学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
			秋学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
		ウ	春学期	佐伯 徹郎	卓球	スポーツルームA
			秋学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
	3	ア	春学期	阿部 巧	バレーボール・フットサル	サブホール
			秋学期	志賀 充	ゴルフ	ゴルフフレンジ
		イ	春学期	志賀 充	フィットネス	フィットネスルーム
			秋学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
		ウ	春学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
			秋学期	阿部 巧	フィットネス	フィットネスルーム
	4	ア	春学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
			秋学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
		イ	春学期	高梨 美奈	ニュースポーツ	SR11
			秋学期	今野 和志	アルティメット・バドミントン	サブホール
		ウ	春学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
			秋学期	阿部 巧	バスケ・フットサル	メインホール
エ	春学期	阿部 巧	バレーボール・フットサル	サブホール		
	秋学期	高梨 美奈	ニュースポーツ	SR11		
土	1	ア	春学期	朴 周鳳	テニス	テニス場
			秋学期	片瀬 文雄	ユニホック	スポーツルームB
		イ	春学期	木村 博人	バスケ・フットサル	メインホール
			秋学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
		ウ	春学期	片瀬 文雄	卓球	スポーツルームA
			秋学期	木村 博人	テニス	テニスコート
	エ	春学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム	
		秋学期	朴 周鳳	バレーボール・バドミントン	サブホール	
	2	ア	春学期	朴 周鳳	テニス	テニス場
			秋学期	木村 博人	バスケ・フットサル	メインホール
		イ	春学期	片瀬 文雄	卓球	スポーツルームA
			秋学期	後藤 肇	テニス	テニスコート
ウ		春学期	木村 博人	バレーボール・バドミントン	サブホール	
		秋学期	片瀬 文雄	フィットネス	フィットネスルーム	
エ	春学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム		
	秋学期	朴 周鳳	バレーボール・バドミントン	サブホール		

曜日	時限	コース	開講期	担当者	場所
水	5	再履修	春学期	三浦 康二	フィットネスルーム
			秋学期	三浦 康二	サブホール
金	5	再履修	春学期	後藤 肇	フィットネスルーム
			秋学期	後藤 肇	サブホール

別表Ⅳ
外国専門書講読担当予定者

コース	部門	担当者
アプライド・エコノミクス	経済	海老名 剛
		土居 拓務
マーケティング	流通・マーケティング	加藤 拓巳
		佐藤 平国
		竹内 亮介
		山崎喜代宏
		大下 剛
		首藤 禎史
		庄司 真人
		坪井 明彦
		仁平 京子
		野木村忠度
		余 漢燮
	交通	恩田 睦
		藤井 秀登
		町田 一兵
ファイナンス&インシュアランス	金融・証券	春学期 周 思思
		秋学期 萩原 統宏
	保険	内藤 和美
グローバル・ビジネス	貿易	山本雄一郎
		高橋 文紀
		山中 達也
マネジメント	経営・情報	円城寺敬浩
		鈴木 貴大
アカウンティング	会計	王 志
		松原 有里
		湯澤 晃明
		渡邊 智
クリエイティブ・ビジネス	クリエイティブ・ビジネス	竹内久美子
		村山 賢哉
	日本語（留学生）	余 漢燮
	スポーツ特別入試	余 漢燮
	基礎英語履修者	渡邊 智

4. 語学について

<p>英語科目について</p>
<p>1. 授業の概要・到達目標</p> <p>グローバル化と情報化が加速する現代社会において、今や緊要なコミュニケーション手段となった英語の運用能力を、「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスに配慮しながら伸ばす。また、言語能力と分ち難く存在する文化的理解力を高め、幅広い教養を身につけるため、様々な教材を通じて、英語圏をはじめとした諸外国の文化に触れながら、日本文化に対する理解も深めてゆく。</p> <p>和泉キャンパス（1・2年次）では、クラス指定による「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」と、習熟度に応じた選択制による「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」「上級英語Ⅰ・Ⅱ」の4種類の授業科目（週1回、春・秋学期各1単位）が開講されている。「Ⅰ」は春学期開講、「Ⅱ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ」と「Ⅱ」を1年間通して履修すること。週1回・1年分の授業を、週2回・1学期で履修する「集中基礎英語」「集中上級英語」（2単位）が開講されることもある。</p> <p>駿河台キャンパス（3・4年次）では、多彩なテーマ設定による「発展英語」（週1回、1学期完結1単位）が開講されている。</p>
<p>2. 授業内容</p> <p>「口語英語Ⅰ・Ⅱ」： 英語でのオーラル・コミュニケーション能力の習熟を目標に、発音と聴解を重視し、口語表現を中心とした授業をおこなう。</p> <p>「英語講読Ⅰ・Ⅱ」： 英文読解力の習熟を目標に、語彙と文法を重視し、現代英語の幅広い素材のテキストにより、講読を中心とした授業をおこなう。</p> <p>「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」： 公募制特別入試（出願条件が商業分野の者のみ）・スポーツ特別入試による入学者が、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」または「英語講読Ⅰ・Ⅱ」に代えて履修することを認められるもので、基礎的な英語力の向上を目的とする。定員約40名。</p> <p>「上級英語Ⅰ・Ⅱ」： 習熟度の高い学生（TOEIC 550点以上）が、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」または「英語講読Ⅰ・Ⅱ」に代えて履修することを認められるもので、総合的な英語力の向上を目的とする。定員約20名。</p> <p>「発展英語」： 「上級英語」の3・4年生版ともいべきもので、4年間一貫教育の成果に磨きをかける、多彩なテーマの授業が用意されている。</p>
<p>3. 履修上の注意</p> <p>「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」は、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」または「英語講読Ⅰ・Ⅱ」に代えて、1年次および2年次にそれぞれ2コマ（春・秋学期計4単位）まで履修することができる。希望者が定員を超える場合は、初回授業時に筆記・面接などによる選抜をおこなう。</p> <p>「上級英語Ⅰ・Ⅱ」は、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」または「英語講読Ⅰ・Ⅱ」に代えて、1年次および2年次にそれぞれ2コマ（春・秋学期計4単位）まで履修することができる。いずれの種類の上級英語も、4月実施のTOEICのスコア、もしくは英検などの実績の申告に基づき、必要に応じて選抜をおこなう。4月以前にTOEICを受験し550点以上を取得している場合、または英検2級以上に相当する資格を取得している場合は、初回授業時にその内容を証明する書類（コピー可）を持参すること。</p> <p>外国語科目では、授業回数3分の1以上を欠席した学生には、原則として定期試験を受ける資格が認められない。担当教員によっては、さらに高い出席率を求めることがあるので注意すること。</p> <p>「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」「上級英語Ⅰ・Ⅱ」「発展英語」の授業の詳細に関しては、Oh-o! Meijiのクラスウェブを参照のこと。クラス指定の「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」については、初回の授業ならびにOh-o! Meijiのクラスウェブ上において、担当教員からの説明がある。</p>

ドイツ語科目について

1. 授業の概要・目的

商学部は、多様な文化を理解する教養を備えた、世界で活躍できるビジネスパーソンの育成に力を入れており、英語だけでなく初習外国語を学ぶためのカリキュラムも充実している。初習外国語のひとつとして設置されているドイツ語は、大学で初めてドイツ語を学ぶ学生を対象にして初級レベルから段階的に科目を展開しているため、4年間を通じて学習できる。ドイツ語授業の一貫した目的は、ドイツ語圏の社会や文化への理解を深めながら、ドイツ語の実践的な運用能力を高めることである。

この目的のため、和泉キャンパスでは、「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」（1年次、および「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」（2年次）が必修科目として開設されている。（「Ⅰ」「Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ」「Ⅳ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ・Ⅱ」および「Ⅲ・Ⅳ」を1年間通して履修する。）また、入学試験の際、外国語科目のなかからドイツ語を選択した学生やドイツ語の学習歴のある学生のために、「特別ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」（1・2年次）が和泉キャンパスの共通科目として設置されている。商学部はさらに、将来の留学・研究・ビジネスに役立つドイツ語能力を1年の秋学期から3学期連続で養成する選択科目「初級ドイツ語プラスワン」（1年次秋学期）と「中級ドイツ語プラスワン」（2年次春・秋学期）を開設している。

駿河台キャンパスでは、3・4年次でも継続してドイツ語を学習したい学生のために、「上級ドイツ語」と「発展ドイツ語」が半期科目として開講されている。いずれの科目も春学期・秋学期の連続履修と3・4年の連続履修が可能である。3・4年生を対象とするこれら2つの選択科目において、ドイツ語の基礎力をさらに発展させ、実践に役立つ高度な運用能力を養成することができる。

2. 授業内容

《必修科目》:

「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」:ドイツ語文法の基礎を学ぶ。基礎的な語彙・表現も習得する。辞書の引き方も身につける。(1年次必修科目・指定クラス・日本人教員担当)

「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」:ドイツ語コミュニケーションの授業。正しい発音やアクセントを学び、基礎的な口語表現を習得する。(1年次必修科目・指定クラス・ネイティブ教員担当)

「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」:1年次から継続するドイツ語文法の学習を完成させた上で、比較的長い文の読解を通じて、ドイツ語のテキストに習熟する。内容には、ドイツ語圏や他のヨーロッパ諸国への関心を深めていく。(2年次必修科目・指定クラス)

「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」:5つのテーマ別クラス(「コミュニケーションドイツ語」、「独検対策」、「時事ドイツ語」、「ドイツ文化講読」、「オーストリア文化講読」)からひとつを選択し履修する。授業内容の詳細は、Oh-olMeijiのクラスウェブ上に掲載されている担当者別シラバスを参照すること。(2年次必修科目・テーマ別編成クラス)

*特別語学(「特別ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「特別ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」):入学試験の際、外国語科目のなかからドイツ語を選択した学生を対象として開講されおり、必修科目の「初級ドイツ語」・「中級ドイツ語」に代えて履修することができる。これらの科目は、ドイツ語で受験しなかった学生でも、相当するドイツ語能力があれば履修することができるので、該当する学生は入学後早々に商学部事務室(和泉)に申し出ること。

《選択科目》:

「初級ドイツ語プラスワン」:さまざまな教材やテーマに基づいてドイツ語技能をバランスよく伸ばし、将来の留学・研究・ビジネスに結びつく確かな基礎力を養成する。1年次の春学期、7月頃に選抜テストが行われる。定員15名程度。(1年次選択科目、秋学期開講)

「中級ドイツ語プラスワン」:「初級ドイツ語プラスワン」から継続して履修し、さらに実践的なドイツ語力を養成する。(2年次選択科目、春・秋学期開講)

「上級ドイツ語」:多様な教材を用いて、ドイツ語能力をより高度なレベルに向上させる。2年次までの必修単位が修得できた者は誰でも履修できる。(3・4年次選択科目)

「発展ドイツ語」:商学部のドイツ語科目のなかでもっともレベルの高い科目である。これまで養ったドイツ語能力にさらに磨きをかける。「上級ドイツ語」の単位修得者、ドイツ語圏留学経験者、「特別ドイツ語」履修者を対象としているが、これ以外の学生も受け入れている。履修希望者は初回授業に出席し、担当教員に相談すること。(3・4年次選択科目)

3. 履修の注意点

- ・語学の授業では出席および積極的な参加を重視している。ドイツ語の各科目では、授業回数の3分の1を超えて欠席した学生には、原則として単位修得を認めていない(商学部の外国語科目ルール)。当然ながら、病気の時以外、毎回出席しなければならない。
- ・春学期の初回授業までに教科書を購入し、持参すること。なお、初回授業では評価方法、独和辞典の購入などについての説明があるので必ず出席すること。
- ・ドイツ語は授業を通じて、さまざまな情報提供を行っている。《ドイツ語プラスワン》の選考、商学部海外協定校プレーメン経済工科大学への留学、ミュンヘン大学付属語学学校のドイツ語夏期集中講座、ドイツ語資格試験(「独検」など)の受験料補助などについて案内する。授業でのアナウンスや配布物に注意して、ドイツ語学習に活用してほしい。
- ・「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」、「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」の各授業の具体的内容については、Oh-olMeijiのクラスウェブ上に掲載されている。初回の授業でも担当教員から説明がある。

・学部間共通外国語科目による単位振り替え

2年次履修の「中級ドイツ語Ⅲ」・「中級ドイツ語Ⅳ」は、以下のいずれかの学部間共通外国語科目の履修・単位修得をもって単位振り替えをすることができる。

- ア. 「ドイツ語会話ⅡA」(春学期)、「ドイツ語会話ⅡB」(秋学期)の連続履修
- イ. 「ドイツ語会話ⅢA」(春学期)、「ドイツ語会話ⅢB」(秋学期)の連続履修

※「中級ドイツ語Ⅰ」・「中級ドイツ語Ⅱ」は単位振り替えの対象とはならない。

※上記の学部間共通外国語科目は、単位振り替えをせずに、履修することもできる。意欲的な人は、ネイティブ教員が担当する学部間共通外国語科目を積極的に活用しよう。

・再履修について(必修科目)

履修した必修科目の単位修得ができなかった場合、その科目を再履修しなければならない。各科目の再履修者のために、以下のような再履修クラスが設置されている。各科目のⅠとⅢは春学期科目に、ⅡとⅣは秋学期科目に対応した内容となっている。

◎1年次配当科目の単位が修得できなかった場合

「初級ドイツ語Ⅰ」と「初級ドイツ語Ⅲ」については、2年次春学期に和泉キャンパスに設置されている「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅲ(再履修)」を履修する。「初級ドイツ語Ⅱ」と「初級ドイツ語Ⅳ」については2年次秋学期に和泉キャンパスに設置されている「初級ドイツ語Ⅱ・Ⅳ(再履修)」を履修する。

◎2年次配当科目の単位が修得できなかった場合

【3・4年生】

「中級ドイツ語Ⅰ」と「中級ドイツ語Ⅲ」については、春学期に駿河台キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅲ(再履修)」を履修する。「中級ドイツ語Ⅱ」と「中級ドイツ語Ⅳ」については、秋学期に駿河台キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅱ・Ⅳ(再履修)」を履修する。

【2年原級生】

和泉キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」を再履修する。

・商学部ドイツ語ホームページの活用について

ドイツ語ホームページにおいて、言語としてのドイツ語の特徴、ドイツ語カリキュラムの特色、ドイツ語圏文化の魅力などが詳しく説明されている。ドイツ語学習やドイツ留学に役立つ情報も多数掲載されているので、下記URLを随時参照すること。

【ドイツ語HPのURL】<http://www.meiji.ac.jp/shogaku/languages/german.html>
「商学部HP」→「教育の特色」→「外国語教育」→「ドイツ語」

フランス語科目について

1. 授業の概要・目的

多くの日本企業が国際化していく現代において、英語が出来ることは既に常識で、さらにもう一つの外国語に習熟していることが求められています。また、英語以外の言語を学ぶことで、新たな発想や世界観を持つことができ、さらに英語圏の文化以外の文化（文明）に触れる事が出来ます。

商学部のフランス語教育は、1年次は、新しい言語の機能的体系を学ぶ「文法クラス」（初級フランス語Ⅰ・Ⅱ）とコミュニケーション能力を身につけるための「会話クラス」（初級フランス語Ⅲ・Ⅳ）により、1年間でフランス語の基礎をしっかりと身につけてもらいます（「Ⅰ・Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ・Ⅳ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ」と「Ⅱ」および「Ⅲ」と「Ⅳ」を1年間通して履修すること）。

2年次では、1年時の基礎力をもとに、クラス指定によるテキストを読む能力を育成する「講読クラス」（中級フランス語Ⅰ・Ⅱ）と、学生が学ぶテーマを自由に選択できる「選択クラス」（中級フランス語Ⅲ・Ⅳ）があり、中級のフランス語能力を身につけると同時に、現代のフランス事情や、フランスの文化を幅広く知る事ができます。

また、特にフランス語に興味を持った学生は、1年次（秋学期から開講）、2年次（春学期から開講）ともに「プラスワン」のクラスを受講することもできます。

3・4年次では、商学部外国語の4年間一貫教育の方針により、一層の習熟を目指す「上級フランス語」と「発展フランス語」を受講することができます。

なお、入試でフランス語を受験した者や希望する者は、学部間共通の「特別フランス語」クラスを受けることになります。

（注意）1、2年次のフランス語の再履修者は、「再履修」クラスを受ける事になるので注意してください。

2. 授業内容

「初級フランス語Ⅰ・Ⅱ」：原則、日本人の教員によって基礎的なフランス語の文法を修得することにより新しい言語の機能的体系を学びます。

「初級フランス語Ⅲ・Ⅳ」：ネイティブ教員（フランス語を母語とする教員）により基礎的なフランス語の会話・コミュニケーション能力を修得します。

「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」：テキスト読解力の習熟を目標に、語彙と文法を重視し、現代フランスの幅広い素材のテキストにより、講読を中心とした授業をおこないます。

「中級フランス語Ⅲ・Ⅳ」：いくつかの選択テーマから自分の関心のある領域を自由に選び、各人思い思いの目標（例：会話力の充実、検定試験合格、実用フランス語能力の整備など）に達することがねらいです。

「初級フランス語プラスワン」：フランス語の意欲的な学習者が、さらなる基礎固めをし、中級文法に容易に接続しうる力を養成します。

「中級フランス語プラスワン」：フランス語を実際に使えるようにするべく、語学への関心興味をさらに引き出すとともに、フランスの文化・社会への興味を醸成します。

3. 履修の注意点

試験を受けるには講義の2/3以上の出席が必要です。

その他は最初の授業で説明されるので特に欠席しないこと。

初めて学ぶ言語なので、欠席（遅刻）をしないのは勿論のこと、予習・復習を欠かさず、積極的に練習問題などを自分ですること。

携帯電話のスイッチを切ること。

なお、辞書（仏和辞典）は特に指定しませんが、学習者用の中型辞書が必要で、小型のポケット辞書では十分ではありません（教員が指定する場合があります）。

中国語科目について

1. 授業の概要・目的

商学部では、ビジネスをはじめとする様々な分野で言語と文化の壁を越えて活躍する真に国際感覚ある人材を養成していくため、英語以外の初習外国語教育にも力を入れ、多様な初習外国語科目を用意しています。中国語科目も、多言語を重視する商学部の外国語教育の一環として設置されています。前世紀末から今世紀初頭に急成長した中国経済を背景に、ビジネスにおける中国語の有用性が揺るぎないものとなっていることはいまでもなく、中国語圏の人々との交流は、観光、文化、教育、スポーツ、防災、行政など多方面で深化してきています。日本と中国の関係も必ずしも順調ではありませんが、現実をみれば日中関係の重要性は全く不変です。政府も企業も中国はもとより中国語圏との関係抜きに国際戦略を立てることはできず、中国語圏の言語、文化と社会を理解しうる人材の重要性はいやがうえにも高まっています。商学部の中国語は、必修の初級と中国語以外に、より意欲的な学習者のための初級プラスワン、中級プラスワン、上級、発展の各科目を設置しています。商学部での中国語教育は、言語を通じて中国・台湾ひいては華人やアジアの文化と社会を理解し、実践的な情報収集と意思疎通が行える力を養成することを目的とします。

2. 授業内容

「初級中国語Ⅰ・Ⅱ」と「初級中国語Ⅲ・Ⅳ」：中国語を初めて学習する1年生のための科目で、Ⅰ・Ⅱは主に中国語を母語とする教員が、Ⅲ・Ⅳは主に日本語を母語とする教員が担当します。春学期にはⅠ・Ⅲを、秋学期にはⅡ・Ⅳを、同一の教科書を使って二人の教員が協力して進め、発音を身につけるとともに一通りの文法事項を学んでいきます。

「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」：2年次の必修科目で主に中国語を母語とする教員の担当科目です。教科書はそれぞれのクラスの担当者が精選したものを使用し、会話練習などを通じてより実践的な中国語力の養成を目指します。

「中級中国語Ⅲ・Ⅳ」：2年次の必修科目で主に日本語を母語とする教員の担当科目です。教科書はそれぞれのクラスの担当者が精選したものを使用し、初級で学んだ文法事項などを基礎に実践的な読解力などを養成していきます。

「初級中国語プラスワン」：より意欲的な1年生のための科目で、秋学期のみに設置されています。1年次の7月に受講生の選抜試験を行いますので、学部からの通知に注意しておいて下さい。

「中級中国語プラスワン」：より意欲的な2年生向けの科目で、春学期・秋学期ともに設置されています。中国語を母語とする教員が、視聴覚教材を用いて臨場感ある授業を行います。

「上級中国語」：中級を学習し終え、さらに社会人として役に立つ中国語を勉強したり、中国語の資格取得を目指したりする学生のための科目です。春学期・秋学期ともに2科目ずつ設置されています。

「発展中国語」：「上級中国語」より高度な応用力を養成したい学生のための科目です。春学期・秋学期ともに1科目ずつ設置されています。

3. 履修の注意点

- ・「上級中国語」と「発展中国語」：いずれの科目も、単位取得科目や成績等による履修制限はありません。「発展中国語」のみを履修することも可能です。
- ・学部間共通外国語科目との振り替え：中国語は、学部間共通外国語科目による単位振り替えを認めていません。
- ・再履修について：初級科目の単位取得が出来なかった場合、和泉開講の再履修科目を未取得の科目数だけ選択し履修しなければなりません。中級科目の単位取得が出来なかった場合、駿河台開講の再履修科目を未取得の科目数だけ選択し履修しなければなりません。
- ・定期試験について：中国語のいずれの科目においても、授業回数の3分の1以上欠席した場合、原則として定期試験の受験を認めませんので単位は取得できません。

韓国語科目について

1. 授業の概要・目的

「多言語4年間教育」に基づき、語学教育に力を入れている商学部には、初習外国語のひとつとして韓国語の科目が設けられています。商学部の韓国語授業では言語学習の基本をなすリーディング、ライティング、ヒアリング、スピーキングの基礎力を養い、それらを用いた様々な表現を自由自在に駆使するための応用力を身につけることを目指します。また、その過程で、多様な形態の教材を用いて韓国文化に触れることになります。

以上のために、和泉校舎（1・2年次）ではクラス指定による「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」、「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」が開設されています。「Ⅰ」は春学期開講、「Ⅱ」は秋学期開講を表わしますが、4月に一括して履修登録を行います。

また、選択制による「初級韓国語プラスワン」（1年次の秋学期のみ）、「中級韓国語プラスワン」（2年次の春秋学期）の授業科目が開設されており、海外留学希望者を積極的に育成していくことと、初習外国語の学習に熱心に取り組む学生の意欲に応えることにしています。

そして、2年次には、商学部の「各種語学検定試験」の受験料補助を受けて、毎年11月に韓国語能力試験を受験し、外部の公的機関による客観的な韓国語能力の評価を受けるとともに、資格の習得に臨みます。

駿河台校舎（3・4年次）では、選択制による「上級韓国語」と「発展韓国語」が開講されます。前者では、初級・中級の学習を土台にした文法や文型のレベルをより高め、後者では様々なテーマを取り上げて多様な表現法を学びます。さらに、韓国語能力試験各級のレベルアップ対策が講じられます。

2. 授業内容

- ・「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」：「Ⅰ」と「Ⅲ」、「Ⅱ」と「Ⅳ」との間はリレー形式の授業形態をとり、前者ではハングル文字が確実に読み・書きできること、後者では基本文型をマスターして簡単な文章が作れることを目標とし、授業が進められます。
- ・「初級韓国語プラスワン」：「初級韓国語Ⅰ」を履修したばかりのレベルであるため、歌や詩などを取りあげ、歌詞を通じて発音の練習を繰り返します。そのことによって基本的な発音の仕方を楽しく、わかりやすく身に付け、韓国語の学習を持続させていくようにすることが授業の目標となります。
- ・「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」：「Ⅰ・Ⅱ」では韓国語の文法および語彙の知識を確かなものにし、かつ正確な発音を身に付けること、「Ⅲ・Ⅳ」では用言の語尾の基本的な変化について学び、それらを用いた基本文型をマスターして簡単な応用文が作れることを授業の目標とします。
- ・「中級韓国語プラスワン」：PCでハングル文字の打ち方と入力の仕方を学び、韓国語によるネットサーフィンや検索、メールやチャット上のコミュニケーションができるようにすることが授業の目標です。
- ・「上級韓国語」：作文・読解・会話の学習能力を深化させ、多様な表現の文章力と長文の読解力、会話能力のレベルアップを図ります。
- ・「発展韓国語」：視聴覚教材や新聞、雑誌などの多様な形態の教材を用い、その内容を理解するとともに、作文・読解・会話の応用力と活用力の向上を図ります。

3. 履修の注意点

「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」と「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」の授業はリレー形式で行われ、「Ⅰ」と「Ⅲ」、「Ⅱ」と「Ⅳ」はそれぞれ連動するため、一方の授業を欠席すると、他方の授業内容が理解できなくなります。

「初級韓国語プラスワン」と「中級韓国語プラスワン」は、1年次の秋学期・2年次の春秋学期という3学期連続であり、1年次の春学期の終わり頃に募集と選考試験を行うので、希望者はガイダンスに出席してください。募集・選考試験・ガイダンスの日程はOh-o!!Meijiを通じて知らせます。

「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」と「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」の授業のうち、いずれかの授業で「ハングル能力検定試験」の4級を全員受験することになりますが、個別的にレベルアップして3級や2級などを併願・受験することも可能です。

「上級韓国語」「発展韓国語」を含めて、韓国語の授業は科目種を問わず、すべて授業回数の3分の1以上を欠席した場合、原則として定期試験を受けることを認めません。

スペイン語科目について

1. 授業の概要・目的

スペイン語は、スペインと中南米の20以上の国と地域で公用語とされる言語で、国連公用語の一つでもある。スペイン語を習得することは、広大で多様な世界に近づく一歩となり、将来国際的に活躍するチャンスにもつながるだろう。

スペイン語の1・2年次クラス指定による必修科目は以下の通りである。1年次では、春学期に「初級スペイン語Ⅰ」と「初級スペイン語Ⅲ」、秋学期に「初級スペイン語Ⅱ」と「初級スペイン語Ⅳ」の計4科目を履修する。各科目1単位で、1年間に計4単位を修得する。履修登録は4月に一括して行う。2年次も同様に、春学期に「中級スペイン語Ⅰ」と「中級スペイン語Ⅲ」、秋学期に「中級スペイン語Ⅱ」と「中級スペイン語Ⅳ」の計4科目（4単位）を履修する。

2024年度は以下の選択科目は不開講となっている：「初級スペイン語プラスワン」「上級スペイン語」「発展スペイン語」。ただし「上級スペイン語」に相当する科目として、法学部開講の「上級スペイン語AⅠ」（春学期）、「上級スペイン語AⅡ」（秋学期）の履修が可能である。

2. 授業内容

「初級スペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「初級スペイン語Ⅲ・Ⅳ」：スペイン語の基礎文法を包括的に学習する。アルファベットと発音から始め、名詞の特徴や動詞の時制を学び、直説法の文法構造の把握を目指す。簡単な会話表現も練習し、基本的なスペイン語力を養成する。

「中級スペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「中級スペイン語Ⅲ・Ⅳ」：1年次の「初級スペイン語」で学習した内容をふまえ、総合的なスペイン語運用能力を高めていく。スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する話題を取り上げながら、「Ⅰ・Ⅱ」はおもに読解力や作文力、「Ⅲ・Ⅳ」はおもにコミュニケーション力養成に焦点を当てる。

「中級スペイン語プラスワン」：春学期・秋学期開講の選択科目（各1単位）。さまざまな場面で活用できるスペイン語の応用力養成に加え、スペイン語圏の多様なテーマについても視野を広げていく。

3. 履修の注意点

「中級スペイン語プラスワン」：履修希望者は、4月の初回授業で担当教員に相談すること。

再履修について：必修科目の単位修得ができなかった場合、翌年度にその科目に相当する再履修科目を履修しなければならない。再履修科目は以下の通りである。

・「初級スペイン語Ⅰ」と「初級スペイン語Ⅲ」の再履修科目は、2年次春学期開講の「初級スペイン語Ⅰ・Ⅲ（再履修）」。「初級スペイン語Ⅱ」と「初級スペイン語Ⅳ」の再履修科目は、2年次秋学期開講の「初級スペイン語Ⅱ・Ⅳ（再履修）」。

・「中級スペイン語Ⅰ」と「中級スペイン語Ⅲ」の再履修科目は、春学期に駿河台開講の「中級スペイン語Ⅰ・Ⅲ（再履修）」。「中級スペイン語Ⅱ」と「中級スペイン語Ⅳ」の再履修科目は、秋学期に駿河台開講の「中級スペイン語Ⅱ・Ⅳ（再履修）」。

すべてのスペイン語科目において、一学期の授業回数の3分の1以上を欠席した場合、原則として定期試験の受験資格および単位修得を認めない。

CLASP（商学部外国語アドヴァンスメント・プログラム）について

「CLASP (Commerce Language Advancement Studies Program)」は、商学部の「学理実際兼ね通ずる人材の養成」という教育理念をふまえ、グローバル社会で活躍することのできる豊かな学識と高い外国語能力を備えた、行動力あるビジネス・パーソンを育てるための外国語重点プログラムである。英語の習熟度が高く、外国語能力をさらに向上させるための強い意欲を持つ学生を対象に、商学部の専門科目を英語で学ぶための基礎を固めると同時に、海外の多様な文化・社会への理解を深め、将来の長期海外留学にも役立つ外国語能力を養うことを目的とする。

〔2022年度以降入学者向け〕 ※2021年度以前入学者は事務室に確認すること。

1 プログラムの概要

- ① 和泉キャンパスでの2年間で完結。(当プログラムへの事前申請の必要はない)
- ② 既習外国語(英語)の必修単位8単位中、6単位以上を「上級英語」の履修により修得することを柱に、下記に示す「履修科目」から一定の単位数以上を修得する。
- ③ 2年終了時に修了証書を授与。なお、2年終了時には既習外国語の必修8単位をすべて修得し、進級条件を満たしていることが前提である。
- ④ 修了者のうち、以下のいずれかの条件に該当する学生には優等修了証明書(with distinction)を授与。
 - TOEFL-iBT:100点以上、もしくはTOEIC 875点以上を取得した学生。
 - 「上級英語」の4単位以上がAまたはS評価の学生。

2 履修科目

次の(1)から(3)に示す科目から必要単位をすべて修得する。ただし、2021年度・2022年度入学者については、海外研修、夏期集中講座等が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止や縮小になったことに伴い、(3)の修了要件は免除します。

(1) 英語科目

既習外国語必修8単位(卒業要件)のうち、6単位以上を「上級英語」に振り替えて履修し、修得すること。全8単位を「上級英語」に振り替えることもできる。

(2) 和泉キャンパス開講の英語による講義科目

2年次終了までに2単位以上を修得すること。卒業要件に含めることができる。

<科目の例>

- 「Essentials of Commerce A」(2単位) 春学期
- 「Essentials of Commerce B」(2単位) 秋学期
- 他学部開講の英語による授業科目(商学部が定める「他学部履修」のルールにもとづく)

注意: 学部間共通外国語科目の各講義は上記科目には該当しない。

(3) 海外研修、夏期集中講座等

次のプログラムから1つ以上に参加し、修了証もしくは修得単位を提示できること。

- ① 商学部開講「特別テーマ海外研修科目」(和泉開講)(2単位)(注2参照)
- ② 学部間共通外国語 集中講座(夏期・春期)(注1参照)
 - 夏期集中講座「英会話」「ドイツ語会話」「フランス語会話」「中国語会話」(夏季休業期間中、学内で実施)。※「英会話」以外も可。
 - 春期集中講座「英会話」(春季休業期間中、国内で実施)

(参考資料・ウェブサイト等)

- 冊子『2024年度学部間共通外国語シラバス』
 - <https://www.meiji.ac.jp/edu/foreign/index.html>
- ③ 国際教育センター主催の短期留学プログラムの内、次の研修・プログラム(注1参照)
 - 短期海外研修(春期:英語、スペイン語、中国語)※英語以外も可。
 - 短期海外研修(夏期:英語、ドイツ語、フランス語)※英語以外も可。
 - グローバル人材育成プログラム(海外実習・短期海外実習)

(参考資料・ウェブサイト等)

- 冊子『海外留学の手引き2024』
- <https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalcareer.html>

(注1) 上記(2)及び(3)に記載の学部間共通外国語科目、「グローバル人材育成プログラム」で1年生から3年生までの間に履修・修得した単位は、合計で4単位までをフリーゾーンの単位として卒業に必要な単位数に含めることができる。希望する場合は、4年次に商学部事務室窓口で所定の手続きを取る。手続きの詳細は学部掲示板およびOh-ol Meijiポータルページで通知する。(2018年度から2022年度入学者まで適用)

(注2) 卒業要件に含めることができる。

3 申請方法

- (1) 3年進級時に商学部事務室より案内するOh-ol Meijiを通じて申請フォームを取得する。
- (2) 必要単位が修得できていることを確認したうえで、申請フォームに回答する。提出期限等は、学部掲示板およびOh-ol Meijiポータルページで通知する。

Ⅲ 特色のある授業・学部間協定留学

1. 特別テーマ実践科目
2. 特別テーマ研究科目
3. 特別テーマ海外研修科目
4. 英語で行う科目
5. 商学部協定校への留学

1. 特別テーマ実践科目

課題発見・解決力、情報発信力を磨く

「特別テーマ実践科目」では、社会に実在するさまざまな課題を読み解き、その解決策を企画・実行します。そして、その成果をまとめ報告するという一連の実践的な課題解決プロセスを、地域や企業など学外との協力関係を活用しながら経験します。課題発見力、企画構想力、課題解決力、情報発信力といった社会で実際に求められている能力の養成を目指す商学部の正課科目です。

■履修申込方法

特別テーマ実践科目の履修を希望する場合には、Oh-oi Meiji「特別テーマ実践科目」グループの内容を確認し、春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業へ出席してください。初回授業で科目担当教員が履修者を選考し、決定します。初回授業に参加できない場合には履修は認められません。なお、初回授業には必ず学生証を持参してください。担当教員から名簿に学生番号・年・組・番号・氏名を記入するように指示がありましたら学生証を提示してから記入してください。

特別テーマ実践科目の初回授業開講期間 ◆4月10日（水）～4月15日（月）

■履修申し込みにあたっての注意事項

- ・一部の科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を選考し、決定する場合があります。 Oh-oi Meijiグループの内容をよく確認してください。
- ・本科目と同じ曜日・時限に必修科目や事前抽選科目を履修登録している場合は、履修は認められません。よく確認した上で初回授業へ出席してください。

■科目の取り方について

- ・特別テーマ実践科目A・Bは和泉、C・Dは駿河台キャンパス開講。また、A・Cは春学期、B・Dは秋学期の開講を意味します。
- ・特別テーマ実践科目A～Dは年度内に各科目1回のみ履修できます。
（例）特別テーマ実践科目Aと特別テーマ実践科目Cは履修可能
特別テーマ実践科目Aと特別テーマ実践科目Aは履修不可
- ・在学中、特別テーマ実践科目A～Dの各科目は2回までしか履修することはできません。
- ・前年度までに単位修得実績のある科目と同一の担当教員・同一テーマの科目は再履修できません。

特別テーマ実践科目一覧表

■和泉キャンパス

開講学期	テーマ	科目名	担当教員	曜日	時限
春学期	ムスリム共生プロジェクトⅠ	A	ハデイ ハーニ	月	3
	ファッションから考える～<定点観測>の理論と実践Ⅰ：下北・吉祥寺のファッションから考える	A	高野 公三子	水	2
	SDGs調理科学	A	浅賀 宏昭	水	5
	大災害時代の復興未来学	A	洞口 拓磨	木	3
	グローバルキャリアデザイン	A	中山 千尋	木	3
	地球に優しい科学を目指す	A	洞口 拓磨	木	4
	地元商店街との相互コミュニケーションの促進A	A	若林 幸男	金	5
秋学期	ムスリム共生プロジェクトⅡ	B	ハデイ ハーニ	月	3
	ファッションから考える～<定点観測>の理論と実践Ⅱ：渋谷のファッションから考える	B	高野 公三子	水	2
	大災害時代の復興未来学	B	洞口 拓磨	木	3
	変革するビジネス	B	中山 千尋	木	3
	地球に優しい科学を目指す	B	洞口 拓磨	木	4
	ニューノーマル下のビジネス	B	中山 千尋	木	4
	フィールドワーク調査法	B	中川 秀一	木	5
地元商店街との相互コミュニケーションの促進B	B	若林 幸男	金	5	

■駿河台キャンパス

開講学期	テーマ	科目名	担当教員	曜日	時限
春学期	転換期のビジネス	C	中山 千尋	月	2
	データで読み解く良い企業	C	前田 陽	月	5
	広報活動によるブランディングと取材の基本	C	東野 香代子	木	2
	都市文化とファッションの関係Ⅰ：都市のカルチュラルナラティブ	C	高野 公三子	木	3
	地域における新規事業提案・基礎編	C	松尾 隆策	金	2
	コンサルティング実践（課題抽出フェーズ）	C	樋渡 雅幸	金	5
	地方の魅力をどう伝えるか：小鹿野町の地域実践編：キャンプ企画を通じた協働の試み	C	中川 秀一	金	6
秋学期	地域における新規事業提案・応用編	D	松尾 隆策	水	2
	地域活性化の取り組みに関する社会調査法	D	松尾 隆策	水	3
	広報活動によるブランディングと取材の基本	D	東野 香代子	木	2
	都市文化とファッションの関係Ⅱ：商業施設から考える	D	高野 公三子	木	3
コンサルティング実践（戦略立案フェーズ）	D	樋渡 雅幸	金	5	

2. 特別テーマ研究科目

商学部の教員から最新の研究成果を学ぼう

商学部では専任の教員を中心とした多くの研究グループが、各学問領域の先端的なテーマで共同研究を展開しています。これらの研究成果を商学部生に分かりやすく説明する授業が「特別テーマ研究科目」です。授業は商学部教員がコーディネータとなって実施されます。主にコーディネータの教員が講義を担当する科目と、複数の講師でリレー式に行われる科目があります。「特別テーマ研究科目」は、理論的な研究成果を基に講義が行われるものから、実際の企業活動を題材にした研究成果を講義内容とするものまで、多様なテーマがそろっています。積極的に履修して力を伸ばしてください。

■履修申込方法

特別テーマ研究科目は事前の履修申し込みは不要です。

履修を希望する方は、通常の履修登録期間【4/16～4/18】に自分で登録をしてください。

■科目の取り方について

- ・特別テーマ研究科目A・Bは和泉、C・Dは駿河台キャンパス開講。また、A・Cは春学期、B・Dは秋学期、Eは集中の開講を意味します。
- ・特別テーマ研究科目A～Dは年度内に各科目1回のみ履修できます。
 (例) 特別テーマ研究科目Aと特別テーマ研究科目Cは履修可能
 特別テーマ研究科目Cと特別テーマ研究科目Dは履修不可
- ・在学中、特別テーマ研究科目A～Dの各科目は2回までしか履修することはできません。
- ・前年度までに単位修得実績のある科目と同一の担当教員・同一テーマの科目は再履修できません。

特別テーマ研究科目一覧表

■和泉キャンパス

開講学期	テーマ	科目名	担当教員	曜日	時限
春学期	イスラーム概論：教養としてのイスラームの文化・社会・歴史Ⅰ	A	ハディ ハーニ	月	2
	《シネマ・リテラシー》を学ぶ	A	渡辺 徳美	月	3
	社会調査法A	A	松尾 隆策	月	3
	ファッション文化論～東京ファッションスタディーズⅠ	A	高野 公三子	水	3
	ラテンアメリカ地域概論Ⅰ	A	所 康弘	木	3
	海外ラグジュアリーブランドの広報活動	A	東野 香代子	木	3
	科学的リテラシー：放射線編	A〔M〕	洞口 拓磨	※	※
	災害と情報科学：災害を理解する	A〔M〕	洞口 拓磨	※	※
秋学期	イスラーム概論：教養としてのイスラームの文化・社会・歴史Ⅱ	B	ハディ ハーニ	月	2
	ファッション文化論～東京ファッションスタディーズⅡ	B	高野 公三子	水	3
	ラテンアメリカ地域概論Ⅱ	B	所 康弘	木	3
	海外ラグジュアリーブランドの広報活動	B	東野 香代子	木	3
	社会調査法B	B	松尾 隆策	金	3
	科学的リテラシー：電磁波編	B〔M〕	洞口 拓磨	※	※
	災害と情報科学：災害と対峙する	B〔M〕	洞口 拓磨	※	※
	犯罪を生じるこころとその対策：司法・犯罪心理学を識る	B〔M〕	佐々木 美加	※	※

■駿河台キャンパス

開講学期	テーマ	科目名	担当教員	曜日	時限
春学期	Fundamentals of Accounting	C	姚 俊	火	6
	歴史と文化から学ぶスペイン語 I	C	井関 睦美	水	4
	中東国際政治概論：パレスチナ問題と現代社会	C	ハディ ハーニ	金	2
	心理学による自己分析：心理尺度で自己を測定して客観的に自分自身をとらえる	C〔M〕	佐々木 美加	※	※
秋学期	歴史と文化から学ぶスペイン語 II	D	井関 睦美	水	4
	実践アラビア語コミュニケーション論	D	ハディ ハーニ	金	2

※メディア授業科目のためフルオンデマンド配信の授業になります。他の科目との曜日時限の重複は発生しません。

3. 特別テーマ海外研修科目

商学部独自の海外研修科目でグローバルな視野を広げよう

商学部では近年「商学のグローバル展開」に力を入れてきました。海外協定校との連携を深め、商学部生の短期海外留学を積極的に促進しています。

特別テーマ海外研修科目は半期14回の授業に相当し、留学先の研修プログラムに加え、留学前の準備学習と、留学後の成果報告会での発表を経て、2単位を修得することができます。

科目により研修内容は異なります。ビジネスの世界で通用する実践的な英語力を身につけたい、あるいは、ファッションの本場でブランド・マネジメントに必要な専門知識を得たい等、海外で様々な人と交流し、多様な文化に触れたい学生はぜひ履修してください。

■履修申込方法

- ・履修制限単位数を超えて履修できません。
- ・履修登録方法、募集要項等の詳細は確定次第、Oh-o! Meiji 等でお知らせします。

和泉キャンパス

テーマ	科目	担当	研修先	研修期間
フレンチ・ファッション・プログラム	B	東野 香代子	モダール・インターナショナル学院 (フランス)：大学間協定校	2025年 2月中旬～2月下旬 約2週間
The World of Australian Wine	B	ジェームズ・ アンドリュース	カーティン大学 (西オーストラリア)	2025年 2月下旬～3月上旬 約3週間

研修先での授業例

○フレンチファッション・プログラム

フランス、パリでのラグジュアリーに特化した研修。「ファッションとメディア」「オートクチュールとデザイナー」「ファッションショウの企画・制作」「ビジュアル・マーチャンダイジング」「フランスの香水産業」など、ブランド・マネジメントやマーケティングに必要なファッションビジネスの理論や実務に関する講義を午前中に英語で実施。午後からはブランド本店や工房、文化財団の見学などのフィールドワーク。

○The World of Australian Wine

オーストラリア西海岸の町、パースにあるカーティン大学でワインの製造やワイナリーのブランド戦略などを切り口に、ビジネスを学ぶことができる明大生のための研修プログラムです。スワン・バレー地域にあるワイナリーを見学し、テーマとなるワインのロゴデザインやポスターの制作も行います。英語はもちろんのこと、ワインのテイस्टイングの作法や原料となるブドウの品種に至るまで、深い教養と実践的なスキルを身に着けることができます。

4. 英語で行う科目

《英語》で商学部科目を学ぶチャンス！

《英語で授業を行う科目》を卒業要件に含めることが可能です。

専門知識と教養を深めながら、英語力を高める機会です。積極的な受講が、あなたの自信につながることでしょ

英語力を高めたい学生へ

まずは講義を聞いてみませんか。リスニングの力を高めるには、とにかく「聞く」量をふやすこと、そして、教科書や関連図書を多く読むことです。

留学を目指している学生へ

専門分野の語彙を増やしましょう。《英語で授業を行う科目》にチャレンジしてみませんか。講義の中で使われる単語は、専門分野の学習に不可欠です。

●受講方法は簡単

- ① このページで、商学部生が履修できる《英語で授業を行う科目》を確認してください。
- ② 商学部の「時間割」（和泉・駿河台）で開講時限・曜日・教室を確認しましょう。
- ③ あとは、期日を守って各自で「WEB履修登録」をするだけです！

「他学部履修」でも《英語による科目》を履修できます。

「他学部履修」を使用して英語授業を履修することもできます。商学部では、4年間で最大20単位まで他学部履修を認めています。他学部履修が可能な科目にも、英語授業がありますので、ぜひチャレンジしてみてください。希望者は、各学部シラバスで確認をしてください。

◆和泉キャンパス

開講期	科目名	担当者	曜日	時限
春学期	Essentials of Commerce A	中山 千尋	木	2
秋学期	Essentials of Commerce B	中山 千尋	木	2

◆駿河台キャンパス

開講期	科目名	担当者	曜日	時限
春学期	国際経営論 A	鷺見 淳	月	3
	特別テーマ研究科目 C (Fundamentals of Accounting) ※	姚 俊	火	6
	Applied of Commerce A	白井 哲也	水	2
	経営戦略論 A	近藤 光	金	1
秋学期	国際経営論 B	鷺見 淳	月	3
	Applied of Commerce B	白井 哲也	水	2
	異文化間コミュニケーション論	加藤 健太	木	3
	経営戦略論 B	近藤 光	金	1

※グローバル・ビジネス研究科との相乗り科目。6限は18:55～20:25までの90分。授業回数は全15回。

5. 商学部協定校への留学

商学部では、学部生の海外派遣を積極的に行っています。商学部が独自に学生交流を行っている海外の協定校は以下の通り。学部間協定校留学制度を活用し、海外留学に挑戦してみませんか。

- ・留学希望者は早めに商学部窓口（駿河台・和泉）にお問い合わせください。
- ・応募要項及び必要書類は商学部HPに掲載します。希望者は必ず募集要項を確認してください。
- ・各大学の所在地や特色については、商学部HPや各協定校のHPを参照してください。
- ・大学の留学経費助成制度が利用できます。詳しくは国際連携・留学のHPを確認してください。

■レンヌ商科大学【フランス】 Rennes School of Business

出願条件	TOEFL iBT 79点以上、IELTS 5.5以上、TOEIC785点以上 フランス語による基本的なコミュニケーション能力を有する者（※参照）
募集人数	2名前後（選考によっては派遣しない場合あり）
留学期間	半年間（例年9月～2月）、または1年間（例年9月～6月）
手続き	所定の留学志願書・履修計画書・保証人による留学同意書・語学能力証明書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付）渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年12月～1月末
選考時期	例年2月下旬頃

■ブレーメン経済工科大学【ドイツ】 Hochschule Bremen (HSB)

出願条件	TOEFL iBT 71点以上、IELTS5.5以上、英検準1級、TOEIC700点程度 ドイツ語による基本的なコミュニケーション能力を有すること（独検3級程度）（※参照）
募集人数	2名前後（選考によっては派遣しない場合あり）
留学期間	半年間（例年3月～8月／9月～2月）、または1年間（3月～2月／9月～8月）
手続き	所定の留学志願書・履修計画書・保証人による留学同意書・語学能力証明書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付）渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年5月～6月頃
選考時期	例年7月頃

■カーディフ大学・カーディフビジネススクール【イギリス】 Cardiff Business School, Cardiff University

出願条件	TOEFL iBT 60点以上、 IELTS: 6.0以上（Listening, Speaking, Reading, Writing各セッション5.5以上）（※参照）
募集人数	1～2名（選考によっては派遣しない場合あり）
留学期間	1年間（例年9月～7月）
手続き	所定の留学志願書・履修計画書・保証人による留学同意書・語学能力証明書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付）渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年12月～1月末
選考時期	例年2月下旬

■パリ商業高等教育大学マネジメント学部 [フランス] Institut Supérieur du Commerce Paris School of Management

出願条件	TOEFL iBT 79点以上、TOEFL IPT 543点以上、TOEIC 785点以上、IELTS 6.5以上 フランス語による基本的なコミュニケーション能力を有する者（※参照）
募集人数	1～2名（選考によっては派遣しない場合あり）
留学期間	半年間（例年9月～2月）、または1年間（例年9月～6月）
手続き	所定の留学志願書・履修計画書・保証人による留学同意書・語学能力証明書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付）渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年12月～1月末
選考時期	例年2月下旬頃

■協定校留学には、上記の学部独自の留学のほか、全明治大学生が対象となる「大学間協定校」への留学もあります。

■このほか、学生自身が留学先の大学の入学許可をとり、学部が認定留学として承認した上で留学する「認定留学」もあります。

詳しくは、国際教育センター発行の『海外留学の手引き』やHP (<https://www.meiji.ac.jp/cip/from/index.html>) を確認してください。

※年度によって出願条件、募集内容を変更することがあります。HPやOh-o! Meijiにて必ず最新情報を確認してください。

IV 商学部カリキュラムマップ

商学部商学科カリキュラムマップ

商学部の具体的到達目標として、以下の目標を掲げています。そして、本学学則に定める期間に在学し、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などからなる所定の単位（126単位）を修得することにより、教育目標に到達したと認定し、学士（商学）を授与します。

■商学部商学科 学位授与方針（具体的到達目標）

- (1) 商学部の専門知識と深い教養の知識を兼ね備えて、理論的思考で事象を考えることができる
- (2) 外国語運用能力を備えた総合的な国際性、現代社会を理解する知識を身につける
- (3) 商学の最先端分野に関する理論的・実証的研究の成果を習得する
- (4) 「総合的市場科学」の視点より市場現象に関わる多様な課題を的確に分析し、それらを解決できる能力を有する
- (5) 自ら主体的に学び、行動する積極性、様々な人々と協働できるチーム力及びコミュニケーション力で課題解決に取り組むことができる

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1) 理論的思考	(2) 国際性	(3) 商学専門知識	(4) 商学的視点・分析	(5) コミュニケーション
基礎教育科目							
基礎演習	1	2	◎				○
文章表現	1	2	◎				○
経済学A・B	1	4	◎		○		
総合教育科目／文化と芸術							
日本文化史A	1・2	2	○				
日本文化史B	1・2	2	○				
西洋文化史A	1・2	2	○				
西洋文化史B	1・2	2	○				
日本語表現論A	1・2	2	○				
日本語表現論B	1・2	2	○				
日本近代文学A	1・2	2	○				
日本近代文学B	1・2	2	○				
日本古典文学A	1・2	2	○				
日本古典文学B	1・2	2	○				
宗教学A	1・2	2	○				
宗教学B	1・2	2	○				
外国文学（西洋）A	3・4	2	○				
外国文学（西洋）B	3・4	2	○				
外国文学（東洋）A	3・4	2	○				
外国文学（東洋）B	3・4	2	○				
芸術（音楽）A	3・4	2	○				
芸術（音楽）B	3・4	2	○				
芸術（美術）A	3・4	2	○				
芸術（美術）B	3・4	2	○				
総合教育科目／地域と社会							
法学A	1・2	2	○				
法学B	1・2	2	○				
アジア史A	1・2	2	○				
アジア史B	1・2	2	○				
地理学A	1・2	2	○				
地理学B	1・2	2	○				
社会学A	1・2	2	○				
社会学B	1・2	2	○				
社会思想史A	1・2	2	○				
社会思想史B	1・2	2	○				
日本思想史A	3・4	2	○				
日本思想史B	3・4	2	○				
政治学A	3・4	2	○				
政治学B	3・4	2	○				
人類学A	3・4	2	○				
人類学B	3・4	2	○				
総合教育科目／人間と自然							
哲学A	1・2	2	○				
哲学B	1・2	2	○				
自然科学概論A	1・2	2	○				
自然科学概論B	1・2	2	○				
生命科学A	1・2	2	○				
生命科学B	1・2	2	○				
線型数学A	1・2	2	○				
線型数学B	1・2	2	○				
解析数学A	1・2	2	○				
解析数学B	1・2	2	○				
物理学A	3・4	2	○				
物理学B	3・4	2	○				
化学A	1・2	2	○				
化学B	1・2	2	○				
言語学A	1・2	2	○				
言語学B	1・2	2	○				
論理学A	1・2	2	○				

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
論理学B	1・2	2	○				
心理学A	1・2	2	○				
心理学B	1・2	2	○				
環境科学A	3・4	2	○				
環境科学B	3・4	2	○				
外国人留学生のための科目							
日本事情A	1・2	2	○				
日本事情B	1・2	2	○				
日本事情C	1・2	2	○				
日本事情D	1・2	2	○				
日本事情E	1・2	2	○				
日本事情F	1・2	2	○				
総合学際演習							
総合学際演習	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)A	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)B	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)C	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)D	2～4	2	○	○			◎
卒論指導科目(総合教育科目)A	3	2	○	○			◎
卒論指導科目(総合教育科目)B	3	2	○	○			◎
特別認定科目(総合教育科目)	2～4	2	○	○			◎
外国語科目							
既習外国語							
口語英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
口語英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
英語講読Ⅰ	1・2	1		◎			○
英語講読Ⅱ	1・2	1		◎			○
基礎英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
基礎英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
集中基礎英語	1・2	2		◎			○
上級英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
上級英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
集中上級英語	1・2	2		◎			○
発展英語	3・4	1		◎			○
初習外国語							
初級ドイツ語Ⅰ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅱ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅲ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅳ	1	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅰ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅱ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅲ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅳ	2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅰ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅱ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅲ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅳ	1・2	1		◎			○
初級フランス語Ⅰ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅱ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅲ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅳ	1	1		◎			○
中級フランス語Ⅰ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅱ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅲ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅳ	2	1		◎			○
特別フランス語Ⅰ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅱ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅲ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅳ	1・2	1		◎			○
初級中国語Ⅰ	1	1		◎			○

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
初級中国語Ⅱ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅲ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅳ	1	1		◎			○
中級中国語Ⅰ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅱ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅲ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅳ	2	1		◎			○
初級韓国語Ⅰ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅱ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅲ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅳ	1	1		◎			○
中級韓国語Ⅰ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅱ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅲ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅳ	2	1		◎			○
初級スペイン語Ⅰ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅱ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅲ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅳ	1	1		◎			○
中級スペイン語Ⅰ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅱ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅲ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅳ	2	1		◎			○
初級ロシア語Ⅰ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅱ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅲ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅳ	1	1		◎			○
中級ロシア語Ⅰ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅱ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅲ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅳ	2	1		◎			○
日本語（1年）Ⅰ	1	1		◎			○
日本語（1年）Ⅱ	1	1		◎			○
日本語（1年）Ⅲ	1	1		◎			○
日本語（1年）Ⅳ	1	1		◎			○
日本語（2年）Ⅰ	2	1		◎			○
日本語（2年）Ⅱ	2	1		◎			○
日本語（2年）Ⅲ	2	1		◎			○
日本語（2年）Ⅳ	2	1		◎			○
初級ドイツ語プラスワン	1	1		◎			○
初級フランス語プラスワン	1	1		◎			○
初級中国語プラスワン	1	1		◎			○
初級韓国語プラスワン	1	1		◎			○
初級スペイン語プラスワン	1	1		◎			○
中級ドイツ語プラスワン	2	1		◎			○
中級フランス語プラスワン	2	1		◎			○
中級中国語プラスワン	2	1		◎			○
中級韓国語プラスワン	2	1		◎			○
中級スペイン語プラスワン	2	1		◎			○
上級ドイツ語	3・4	1		◎			○
上級フランス語	3・4	1		◎			○
上級中国語	3・4	1		◎			○
上級韓国語	3・4	1		◎			○
上級スペイン語	3・4	1		◎			○
発展ドイツ語	3・4	1		◎			○
発展フランス語	3・4	1		◎			○
発展中国語	3・4	1		◎			○
発展韓国語	3・4	1		◎			○
発展スペイン語	3・4	1		◎			○

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
保健体育科目							
体育・スポーツ実習A	1	1					◎
体育・スポーツ実習B	1	1					◎
選択スポーツ実習	2	1					○
選択集中スポーツ実習	2～4	1					○
スポーツとグローバリゼーション	1・2	2	◎	○			
スポーツと健康	1・2	2	◎				
基本科目							
ミクロ経済学	1・2	2	○		◎	○	
マクロ経済学	1・2	2	○		◎	○	
理論経済学A	1・2	2	○		◎	○	
理論経済学B	1・2	2	○		◎	○	
経済史A	1・2	2	○	○	◎	○	
経済史B	1・2	2	○	○	◎	○	
商業総論A	1・2	2	○		◎	○	
商業総論B	1・2	2	○		◎	○	
経営学総論A	1・2	2	○		◎	○	
経営学総論B	1・2	2	○		◎	○	
簿記学A	1	2	○		◎	○	
簿記学B	1	2	○		◎	○	
会計学総論A	1・2	2	○		◎	○	
会計学総論B	1・2	2	○		◎	○	
統計学A	1・2	2	○		◎	○	
統計学B	1・2	2	○		◎	○	
金融総論A	1・2	2	○		◎	○	
金融総論B	1・2	2	○		◎	○	
貿易総論A	1・2	2	○		◎	○	
貿易総論B	1・2	2	○		◎	○	
ビジネス・インサイト	1・2	2	○		◎	○	
総合講座(商学入門)	1	2	○		◎	○	
総合講座(商学研究入門)	1・2	2	○		◎	○	
Essentials of Commerce A	1～4	2	○	○	◎	○	
Essentials of Commerce B	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ演習科目(基本科目)A	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(基本科目)B	2～4	2	○	○			◎
特別認定科目(基本科目)	2～4	2	○	○			◎
商学専門演習(2年)	2	2	○		○	◎	○
基幹科目							
経済政策論A	3・4	2	○		◎	○	
経済政策論B	3・4	2	○		◎	○	
公共経済学	3・4	2	○		◎	○	
財政学	3・4	2	○		◎	○	
中小企業論A	3・4	2	○		◎	○	
中小企業論B	3・4	2	○		◎	○	
産業組織論A	3・4	2	○		◎	○	
産業組織論B	3・4	2	○		◎	○	
地域経済論A	3・4	2	○		◎	○	
地域経済論B	3・4	2	○		◎	○	
国際経済学A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際経済学B	3・4	2	○	○	◎	○	
日本経済論A	3・4	2	○		◎	○	
日本経済論B	3・4	2	○		◎	○	
環境経済学A	3・4	2	○		◎	○	
環境経済学B	3・4	2	○		◎	○	
計量経済学A	3・4	2	○		◎	○	
計量経済学B	3・4	2	○		◎	○	
商業経営論A	3・4	2	○		◎	○	
商業経営論B	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング管理論A	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング管理論B	3・4	2	○		◎	○	

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
市場調査論A	3・4	2	○		◎	○	
市場調査論B	3・4	2	○		◎	○	
広告論A	3・4	2	○		◎	○	
広告論B	3・4	2	○		◎	○	
インダストリアルマーケティング論A	3・4	2	○		◎	○	
インダストリアルマーケティング論B	3・4	2	○		◎	○	
商品学A	3・4	2	○		◎	○	
商品学B	3・4	2	○		◎	○	
流通史A	3・4	2	○		◎	○	
流通史B	3・4	2	○		◎	○	
消費者行動論A	3・4	2	○		◎	○	
消費者行動論B	3・4	2	○		◎	○	
流通システム論A	3・4	2	○		◎	○	
流通システム論B	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング企画A	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング企画B	3・4	2	○		◎	○	
競争戦略論A	3・4	2	○		◎	○	
競争戦略論B	3・4	2	○		◎	○	
交通論A	3・4	2	○		◎	○	
交通論B	3・4	2	○		◎	○	
物的流通論A	3・4	2	○	○	◎	○	
物的流通論B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際交通論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際交通論B	3・4	2	○	○	◎	○	
都市・地域交通論A	3・4	2	○		◎	○	
都市・地域交通論B	3・4	2	○		◎	○	
公益事業論A	3・4	2	○		◎	○	
公益事業論B	3・4	2	○		◎	○	
観光事業論A	3・4	2	○		◎	○	
観光事業論B	3・4	2	○		◎	○	
金融論A	3・4	2	○		◎	○	
金融論B	3・4	2	○		◎	○	
コーポレート・ファイナンスA	3・4	2	○		◎	○	
コーポレート・ファイナンスB	3・4	2	○		◎	○	
金融機関論A	3・4	2	○		◎	○	
金融機関論B	3・4	2	○		◎	○	
国際金融論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際金融論B	3・4	2	○	○	◎	○	
金融取引論A	3・4	2	○		◎	○	
金融取引論B	3・4	2	○		◎	○	
証券市場論A	3・4	2	○		◎	○	
証券市場論B	3・4	2	○		◎	○	
機関投資家論A	3・4	2	○		◎	○	
機関投資家論B	3・4	2	○		◎	○	
保険学A	3・4	2	○		◎	○	
保険学B	3・4	2	○		◎	○	
損害保険論A	3・4	2	○		◎	○	
損害保険論B	3・4	2	○		◎	○	
生命保険論	3・4	2	○		◎	○	
社会保障論A	3・4	2	○		◎	○	
社会保障論B	3・4	2	○		◎	○	
保険リスクマネジメント論A	3・4	2	○		◎	○	
保険リスクマネジメント論B	3・4	2	○		◎	○	
貿易論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易論B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際マーケティング論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際マーケティング論B	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易商務論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易商務論B	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易政策論A	3・4	2	○	○	◎	○	

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
貿易政策論B	3・4	2	○	○	◎	○	
ビジネス英語A	3・4	2	○	○	◎	○	
ビジネス英語B	3・4	2	○	○	◎	○	
バーバル・ビジネス英語A	3・4	2	○	○	◎	○	
バーバル・ビジネス英語B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際ビジネス交渉論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際ビジネス交渉論B	3・4	2	○	○	◎	○	
北米地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
欧州地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
中南米地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
アジア・太平洋地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
世界経済論A	3・4	2	○	○	◎	○	
世界経済論B	3・4	2	○	○	◎	○	
経営戦略論A	3・4	2	○		◎	○	
経営戦略論B	3・4	2	○		◎	○	
生産管理論A	3・4	2	○		◎	○	
生産管理論B	3・4	2	○		◎	○	
情報管理論A	3・4	2	○		◎	○	
情報管理論B	3・4	2	○		◎	○	
経営情報システム論A	3・4	2	○		◎	○	
経営情報システム論B	3・4	2	○		◎	○	
経営組織論	3・4	2	○		◎	○	
経営労務論	3・4	2	○		◎	○	
労使関係論A	3・4	2	○		◎	○	
労使関係論B	3・4	2	○		◎	○	
経営管理論	3・4	2	○		◎	○	
産業心理学	3・4	2	○		◎	○	
経営哲学	3・4	2	○		◎	○	
経営倫理	3・4	2	○		◎	○	
企業論	3・4	2	○		◎	○	
日本経営史	3・4	2	○		◎	○	
国際経営論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際経営論B	3・4	2	○	○	◎	○	
財務会計論A	3・4	2	○		◎	○	
財務会計論B	3・4	2	○		◎	○	
原価計算論A	3・4	2	○		◎	○	
原価計算論B	3・4	2	○		◎	○	
意思決定会計論A	3・4	2	○		◎	○	
意思決定会計論B	3・4	2	○		◎	○	
業績管理会計論A	3・4	2	○		◎	○	
業績管理会計論B	3・4	2	○		◎	○	
監査論A	3・4	2	○		◎	○	
監査論B	3・4	2	○		◎	○	
経営分析論A	3・4	2	○		◎	○	
経営分析論B	3・4	2	○		◎	○	
税務会計論A	3・4	2	○		◎	○	
税務会計論B	3・4	2	○		◎	○	
国際会計論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際会計論B	3・4	2	○	○	◎	○	
会計情報論A	3・4	2	○		◎	○	
会計情報論B	3・4	2	○		◎	○	
企業評価論A	3・4	2	○		◎	○	
企業評価論B	3・4	2	○		◎	○	
企業法A	3・4	2	○		◎	○	
企業法B	3・4	2	○		◎	○	
租税法A	3・4	2	○		◎	○	
租税法B	3・4	2	○		◎	○	
異文化間コミュニケーション論	3・4	2	○	○	◎	○	
バィ行カ/ロジ-とバィセ'ジ'奴	3・4	2	○		◎	○	
企業と倫理A	3・4	2	○		◎	○	

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
企業と倫理B	3・4	2	○		◎	○	
企業と環境問題	3・4	2	○		◎	○	
メディアとリテラシー	3・4	2	○		◎	○	
中国政治経済論	3・4	2	○	○	◎	○	
東南アジア政治経済論	3・4	2	○	○	◎	○	
スポーツビジネス論	3・4	2	○		◎	○	
レジャービジネス論	3・4	2	○		◎	○	
産業立地論	3・4	2	○		◎	○	
経済予測入門A	3・4	2	○		◎	○	
経済予測入門B	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャー・ファイナンスA	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャー・ファイナンスB	3・4	2	○		◎	○	
e-ビジネスA	3・4	2	○		◎	○	
e-ビジネスB	3・4	2	○		◎	○	
ビジネス法務A	3・4	2	○		◎	○	
ビジネス法務B	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャービジネス論	3・4	2	○		◎	○	
実践会計論A	3・4	2	○		◎	○	
実践会計論B	3・4	2	○		◎	○	
クリエイティブ・マーケティング論A	3・4	2	○		◎	○	
クリエイティブ・マーケティング論B	3・4	2	○		◎	○	
ファッション・ビジネス論A	3・4	2	○		◎	○	
ファッション・ビジネス論B	3・4	2	○		◎	○	
特別認定科目(基幹科目)	3・4	4	○	○	◎	○	
基幹英語科目							
外国専門書講読	3	4	○	○	◎	○	
Applied Commerce A	3・4	2	○	○	◎	○	
Applied Commerce B	3・4	2	○	○	◎	○	
特別認定科目(基幹英語科目)	3・4	4	○	○	◎	○	
商学専門演習							
商学専門演習(3年)	3	2	○		○	◎	○
商学専門演習(4年)	4	2	○		○	◎	○
特別テーマ演習科目(基幹科目)C	3・4	2	○		○	◎	○
特別テーマ演習科目(基幹科目)D	3・4	2	○		○	◎	○
卒論指導科目C	3	2	○		○	◎	○
卒論指導科目D	3	2	○		○	◎	○
応用展開科目							
総合講座A	1・2	2	○		◎	○	
総合講座B	1・2	2	○		◎	○	
総合講座C	3・4	2	○		◎	○	
総合講座D	3・4	2	○		◎	○	
文化と芸術特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
地域と社会特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
人間と自然特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
外国文化・言語特殊講義A	3・4	2	○		◎	○	
外国文化・言語特殊講義B	3・4	2	○		◎	○	
スポーツ科学特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
商業特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
交通特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
金融・証券特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
保険特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
貿易特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
経営特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
会計特殊講義A	1・2	2	○		◎	○	
会計特殊講義B	1・2	2	○		◎	○	
会計特殊講義C	3・4	2	○		◎	○	
ジョブ・インターンシップ	3	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目A	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目B	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目C	1～4	2	○		◎	○	

科目区分/科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			論理的思考	国際性	商学専門知識	商学的視点・分析	コミュニケーション
特別テーマ実践科目D	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目A	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目B	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目C	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目D	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目E	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目F	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ海外研修科目A	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目B	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目C	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目D	1～4	2	○	○	◎	○	
地域活性化システム論A	1～4	2	○		◎	○	
地域活性化システム論B	1～4	2	○		◎	○	
その他	1～4	各2	○		○		
資格課程関係科目群	1～4	各2	○				
学部間共通外国語科目群※	1～4	各2		◎			○
グローバル人材育成プログラム群※	1～4	各2		◎			
大学院商学研究科設置科目群※	4	各2			◎		
専門職大学院会計専門職研究科設置科目群※	4	各2			◎		

※卒業要件外

2024年4月1日 印刷・発行

発行所 明治大学商学部
駿河台キャンパス

東京都千代田区神田駿河台1-1
電話 03-3296-4160~4161

和泉キャンパス

東京都杉並区永福1-9-1
電話 03-5300-1142

印刷所 株式会社気生堂印刷所

東京都大田区大森西4-6-13
電話 03-3766-1976

本書は再生紙を利用しております

年度入学	学生番号	番
商学部	商	学科
	年	組
		番
氏名		

(駿河台キャンパス) 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学 商学部事務室
電話 03-3296-4160~4161

(和泉キャンパス) 〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1
明治大学 和泉商学部事務室
電話 03-5300-1142